

# 建築工事積算基準等資料

## 【新旧対照表】

令和 8 年 1 月版

静岡県

新旧対照表

改定後	改定前
<div>第 3 編 共 通 費</div> <div>第 1 章（略）</div> <div>第 2 章 共通仮設費</div> <div><div>1 共通仮設費の区分</div><div>共通仮設費は、建築工事、電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事のそれぞれと処分費に区分して算定する。</div></div> <div><div>2 共通仮設費の算定方法</div><div>（1）共通仮設費の算定は共通仮設費率により算定する。ただし、共通仮設費率に含まれないものは積み上げにより算定する。</div><div>イ．共通仮設費率による算定</div><div>（イ）～（ホ）（略）</div><div>（ヘ）共通仮設費率の留意事項</div><div>①道路占用料については、必要に応じて、費用を計上する。なお、道路法第39条において、「道路管理者は、道路の占有につき占用料を徴収することができる。ただし、道路の占有が国の行う事業及び地方公共団体の行う事業で地方財政法（昭和二十三年法律第百九号）第六条に規定する公営企業以外のものに係る場合においては、この限りでない。」とされており、公共発注の営繕工事においては道路占用料の徴収を行わないとされている。道路使用許可申請手数料については、必要に応じて、費用を計上する。なお、所轄警察署により道路使用許可申請手数料が免除される場合がある。</div><div>②環境安全費に含まれる台風等災害に備えた災害防止対策に要する費用のうち、一般的なものの費用については、以下の費用が含まれている。</div><div>・屋外に存置された資材等の移動、養生に要する費用</div><div>・外部足場の点検、補強、シート類の巻き上げ等に要する費用</div><div>③共通仮設費率に含まれる動力用水光熱費</div><div>・新営工事は引込費用及び使用料が該当する。（工事用）</div><div>・改修工事は既存施設からの引き込みが可能であるため、主にメータ設置費と使用料が該当する。（工事用）</div><div>ロ．積み上げによる算定</div><div>以下の項目については、共通仮設費率に含まれないため、設計図書等に基づき積み上げにより算定する。</div><div>（イ）準備費</div><div>敷地測量、仮設用借地料、既存施設内の家具、什器、機器等の移動・復旧、<u>道路占用料等</u>に関する費用</div><div>（ロ）～（ハ）（略）</div><div>（二）環境安全費</div><div><u>交通誘導・安全管理等の要員</u>に要する費用（工事現場（施設）の警備に要する警備要員、機械警備及び交通誘導警備員に要する費用）、台風等災害に備えた災害防止対策に要する費用のうち、</div></div>	<div>第 3 編 共 通 費</div> <div>第 1 章（略）</div> <div>第 2 章 共通仮設費</div> <div><div>1 共通仮設費の区分</div><div>共通仮設費は、建築工事、電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事のそれぞれと処分費に区分して算定する。</div></div> <div><div>2 共通仮設費の算定方法</div><div>（1）共通仮設費の算定は共通仮設費率により算定する。ただし、共通仮設費率に含まれないものは積み上げにより算定する。</div><div>イ．共通仮設費率による算定</div><div>（イ）～（ホ）（略）</div><div>（ヘ）共通仮設費率の留意事項</div><div>①環境安全費に含まれる台風等災害に備えた災害防止対策に要する費用のうち、一般的なものの費用については、以下の費用が含まれている。</div><div>・屋外に存置された資材等の移動、養生に要する費用</div><div>・外部足場の点検、補強、シート類の巻き上げ等に要する費用</div><div>②共通仮設費率に含まれる動力用水光熱費</div><div>・新営工事は引込費用及び使用料が該当する。（工事用）</div><div>・改修工事は既存施設からの引き込みが可能であるため、主にメータ設置費と使用料が該当する。（工事用）</div><div>ロ．積み上げによる算定</div><div>以下の項目については、共通仮設費率に含まれないため、設計図書等に基づき積み上げにより算定する。</div><div>（イ）準備費</div><div>敷地測量、仮設用借地料、既存施設内の家具、什器、機器等の移動・復旧に関する費用</div><div>（ロ）～（ハ）（略）</div><div>（二）環境安全費</div><div><u>安全管理・合図等の要員</u>に要する費用（工事現場（施設）の警備に要する警備要員、機械警備及び交通誘導警備員に要する費用）、台風等災害に備えた災害防止対策に要する費用のうち、大</div></div>

新旧対照表

改定後	改定前
<p>大規模な台風等の風災害対策として、足場の防護シートの全面掛払い、防音パネルの全面掛払い等、受発注者間の協議に基づき設計図書に記載される災害防止対策に要する費用</p> <p>(ホ) ～ (ヘ) (略)</p> <p>(ト) 機械器具<del>費</del></p> <p>①新営工事における荷揚げ用揚重機械器具の費用</p> <p>規格の選定及び存置日数は、表 2－1 ～表 2－5 を参考とし、施工条件等により機種を選定する。</p> <p>(略)</p>	<p>規模な台風等の風災害対策として、足場の防護シートの全面掛払い、防音パネルの全面掛払い等、受発注者間の協議に基づき設計図書に記載される災害防止対策に要する費用</p> <p>(ホ) ～ (ヘ) (略)</p> <p>(ト) 機械器具<del>等</del></p> <p>①新営工事における荷揚げ用揚重機械器具の費用</p> <p>規格の選定及び存置日数は、表 2－1 ～表 2－5 を参考とし、施工条件等により機種を選定する。</p> <p>(略)</p>
<h2>第 4 編 単価、価格等</h2>	<h2>第 4 編 単価、価格等</h2>
<h3>第 1 章 共通事項</h3>	<h3>第 1 章 共通事項</h3>
<p>1 単価及び価格に関する数値の取扱い</p> <p>予定価格のもととなる工事費を算出する過程における数値の取扱いは以下の通りとする。また、端数処理を行う場合は、原則として四捨五入とする。</p> <p>(1) 物価資料に基づく材料単価、市場単価、<u>単位施工単価</u>等</p> <p>イ、「建設資材等の価格決定に関する取扱い」により平均値を採用する場合の端数処理は、百円未満の場合は有効上位 2 桁・一円単位、十円未満の場合は有効上位 1 桁・一円単位、一円未満の場合は小数点以下第 2 位とする。なお、端数処理は切り捨てとする。</p> <p>ロ、イの処理をする前の物価資料掲載価格、物価資料掲載価格の合算単価及び物価資料掲載価格の単位換算単価の端数処理は行わない。ただし、単位換算を行った結果、小数点以下第 3 位以降がある場合は小数点以下第 2 位とする。</p> <p>(2) 標準歩掛り等（市場単価<u>及び単位施工単価</u>の補正含む）に基づく単価</p> <p>イ、標準歩掛り等で算定した単価を標準歩掛り等に用いる場合は、小数点以下第 2 位まで算定した単価を代入する。</p> <p>ロ、単価算定時における金額（数量×単価）は、小数点以下第 2 位までとする。</p> <p>ハ、単価算定に用いる数量に小数点以下第 6 位以降がある場合は、小数点以下第 5 位とする。</p> <p><u>二、 5 市場単価（2）における補正、6 単位施工単価（1）における調整、（3）における補正、9 改修工事の取扱い（2）におけるシフト単価の割増しに使用する率は、小数点以下第 4 位を四捨五入して小数点以下第 3 位とする。</u></p> <p>(3) 製造業者又は専門工事業者の見積価格等</p> <p>採用する価格の端数処理については有効上位 3 桁とする。ただし、千円未満の場合は十円単位とし、百円未満の場合は一円単位とし、一円未満の場合は小数点以下第 2 位とする。</p> <p>(4) 細目別内訳書及び別紙明細書における単価及び金額</p> <p>イ、細目別内訳書及び別紙明細書に計上する単価の端数処理については有効上位 3 桁とする。ただし、千円未満の場合は十円単位とし、百円未満の場合は一円単位とする。</p> <p>ロ、細目別内訳書に計上する金額は、円単位とし<u>一円未満切捨てとする。</u></p> <p>ハ、別紙明細にて算定した金額は、細目別内訳書に円単位として一式計上する。</p>	<p>1 単価及び価格に関する数値の取扱い</p> <p>予定価格のもととなる工事費を算出する過程における数値の取扱いは以下の通りとする。また、端数処理を行う場合は、原則として四捨五入とする。</p> <p>(1) 物価資料に基づく材料単価、市場単価等</p> <p>イ、「建設資材等の価格決定に関する取扱い」により平均値を採用する場合の端数処理は、百円未満の場合は有効上位 2 桁・一円単位、十円未満の場合は有効上位 1 桁・一円単位、一円未満の場合は小数点以下第 2 位とする。なお、端数処理は切り捨てとする。</p> <p>ロ、イの処理をする前の物価資料掲載価格、物価資料掲載価格の合算単価及び物価資料掲載価格の単位換算単価の端数処理は行わない。ただし、単位換算を行った結果、小数点以下第 3 位以降がある場合は小数点以下第 2 位とする。</p> <p>(2) 標準歩掛り等（市場単価の補正含む）に基づく単価</p> <p>イ、標準歩掛り等で算定した単価を標準歩掛り等に用いる場合は、小数点以下第 2 位まで算定した単価を代入する。</p> <p>ロ、単価算定時における金額（数量×単価）<u>の有効桁</u>は、小数点以下第 2 位までとする。</p> <p>ハ、単価算定に用いる数量に小数点以下第 6 位以降がある場合は、小数点以下第 5 位とする。</p> <p>(3) 製造業者又は専門工事業者の見積価格等</p> <p>採用する価格の端数処理については有効上位 3 桁とする。ただし、千円未満の場合は十円単位とし、百円未満の場合は一円単位とし、一円未満の場合は小数点以下第 2 位とする。</p> <p>(4) 細目別内訳書及び別紙明細書における単価及び金額</p> <p>イ、細目別内訳書及び別紙明細書に計上する単価の端数処理については有効上位 3 桁とする。ただし、千円未満の場合は十円単位とし、百円未満の場合は一円単位とする。</p> <p>ロ、細目別内訳書に計上する金額は、円単位とし<u>端数がでないよう数量又は単価を調整する。</u></p> <p>ハ、別紙明細にて算定した金額は、細目別内訳書に円単位として一式計上する。</p>

新旧対照表

改定後	改定前
<p>2 材料価格等</p> <p>単価基準 第1編2（1）に定める材料価格等とは、杭、鉄筋、コンクリート、鉄骨等の価格変動が大きい資材並びに建物ごとに個別性が高い機器等の単価及び価格をいう。</p>	<p>2 材料価格等</p> <p>単価基準 第1編2（1）に定める材料価格等とは、杭、鉄筋、コンクリート、鉄骨等の価格変動が大きい資材並びに建物ごとに個別性が高い機器等の単価及び価格をいう。</p>
<p>3 歩掛り</p> <p>単価の算定に用いる歩掛りは、単価基準第1編3で規定される標準歩掛りの他に「営繕積算システム等開発利用協議会歩掛り（以下「協議会歩掛り」という。）」による。</p> <p>また、標準歩掛りの補足資料として、「公共建築工事積算研究会参考歩掛り（以下「参考歩掛り」という。）」<u>並びに</u>市場単価<u>及び単位施工単価</u>にない類似の単価の作成や見積り単価の検討資料として、「営繕積算システム等開発利用協議会参考資料（以下「協議会参考」という。）」を参考とする。</p>	<p>3 歩掛り</p> <p>単価の算定に用いる歩掛りは、単価基準第1編3で規定される標準歩掛りの他に「営繕積算システム等開発利用協議会歩掛り（以下「協議会歩掛り」という。）」による。</p> <p>また、標準歩掛りの補足資料として、「公共建築工事積算研究会参考歩掛り（以下「参考歩掛り」という。）」<u>及び</u>市場単価にない類似の単価の作成や見積り単価の検討資料として、「営繕積算システム等開発利用協議会参考資料（以下「協議会参考」という。）」を参考とする。</p>
<p>4 「その他」の率</p> <p>歩掛りの「その他」の率は中間値＋1％を標準※とし、地域の特殊性等を考慮のうえ適切に定める。</p> <p>※墜落制止用器具の費用を含めた環境安全費の計上分として1％を加算。対象は単価基準の表3－1－1～3に示された工種とする。</p> <p>なお、交通誘導警備員等の率の設定がされていない工種等については、本来事業者が負担すべき法定福利費相当額、<u>環境安全費及び</u>会社経費を適切に反映した率を設定する。</p>	<p>4 「その他」の率</p> <p>歩掛りの「その他」の率は中間値＋1％を標準※とし、地域の特殊性等を考慮のうえ適切に定める。</p> <p>※墜落制止用器具の費用を含めた環境安全費の計上分として1％を加算。対象は単価基準の表3－1－1～3に示された工種とする。</p> <p>なお、交通誘導警備員等の率の設定がされていない工種等については、本来事業者が負担すべき法定福利費相当額<u>や</u>会社経費を適切に反映した率を設定する。</p>
<p>5 市場単価</p> <p><u>（1）単価基準 第1編2（3）の規格・仕様が単価基準各編記載の細目工種の摘要と一部異なるため、単価（以下「補正市場単価」という。）を設定する細目工種については、各章による。</u></p> <p><u>（2）補正市場単価を算出するための補正方法については附表1による。</u></p>	<p>5 市場単価</p> <p>単価基準 第1編2（3）の<u>掲載条件が一部異なる場合で市場単価を補正して算出する単価（以下「補正市場単価」という。）の補正方法は、次の式による。</u></p> <p><u>なお、補正市場単価の細目工種、補正に用いる歩掛りについては各章による。</u></p>
<p><u>6 単位施工単価</u></p> <p><u>（1）工事場所が物価資料の掲載都市ではない場合は次式により、その単価を調整して算定する。</u></p>	<p><u>補正市場単価A’＝市場単価A×算定式</u></p> <p><u>算定式＝a’÷a</u></p> <p><u>a’＝補正市場単価A’の細目工種に対応する歩掛りによる複合単価</u></p> <p><u>a＝市場単価Aの細目工種に対応する歩掛りによる複合単価</u></p> <p><u>注）算定式の値は、小数点以下第3位を四捨五入して小数点以下2位とする。</u></p>
<div><div>工事場所のシフト単価</div><div>=</div><div>工事場所の材料単価、労務単価を用いて算定したベース単価</div><div>×</div><div><div>物価資料掲載の同一規格・仕様、工事場所を包括する地区を代表する都市のシフト単価</div><div>物価資料掲載の同一規格・仕様、工事場所を包括する地区を代表する都市のベース単価</div></div></div>	
<p><u>（2）単価基準 第1編2（4）の規格・仕様が物価資料に掲載されているものと一部異なるため、単価（以下「補正単位施工単価」という。）を設定する細目工種については、各章による。</u></p> <p><u>（3）補正単位施工単価を算出するための補正方法については附表2による。</u></p>	
<p><u>7 製造業者又は専門工事業者の見積価格等</u></p> <p>単価基準第1編2（4）による場合で、製造業者又は専門工事業者の見積価格等を参考にして単価及び価格を算定する場合は、「建築資材等の見積徴収に関する取扱い」による。</p>	<p><u>6 製造業者又は専門工事業者の見積価格等</u></p> <p>単価基準第1編2（4）による場合で、製造業者又は専門工事業者の見積価格等を参考にして単価及び価格を算定する場合は、「建築資材等の見積徴収に関する取扱い」による。</p>

新旧対照表

改定後	改定前
<p><u>8</u> 改修工事の取扱い</p> <p>(1) 改修工事の分類</p> <p>改修工事は、執務状態、部位、方法等により、分類できる。</p> <p>イ. 執務状態、部位、方法等による改修工事の分類</p> <div><div>改修工事（建物）</div><div><div>全館無人改修</div><div>外部全面改修・外部部分改修</div><div>内部全面改修・内部部分改修</div><div>執務並行改修</div><div>外部全面改修・外部部分改修</div><div>内部全面改修・内部部分改修</div></div></div> <p>ロ. 執務状態の区分</p> <p>改修工事は、工事期間における建物内の執務状況により、全館無人改修及び執務並行改修に積算上区分することができる。</p> <p>(イ) 全館無人改修：仮庁舎等が準備されている等、改修する建物全館が無人（執務者がいない）の状態で行う改修工事をいう。</p> <p>(ロ) 執務並行改修：建物に執務者がいる状態で行う改修工事をいい、施工場所と執務中の場所が区画されている状態の工事も含まれる。また、増築工事においても既存建物と取り合う部分の改修工事については、既存建物の執務者の有無の状態により分類する。</p> <p>ハ. 部位・方法の区分</p> <p>改修工事は、上記執務状態の区分による二つの区分を下記のとおりさらに細かく区分することができる。</p> <p>(イ) 外部全面改修：建物の屋根、外壁等の全面を改修する場合をいう。</p> <p>(ロ) 外部部分改修：建物の屋根、外壁等の小規模で部分的な改修及びそれらが点在する改修をいう。</p> <p>(ハ) 内部全面改修：建物の内部全面を改修する場合をいう。</p> <p>(ニ) 内部部分改修：部屋単位の床、壁、天井等の個別又は複合改修及びそれらが点在する改修をいう。</p> <p>間仕切り等の撤去・新設、又は設備改修等による取り合い周辺部分の改修をいう。</p> <p><u>(2) 改修工事における労務の所要量の割増し、単価の補正</u></p> <p><u>イ 全館無人改修の場合は、単価基準の第2編、第3編、第4編及び本資料に定められた複合単価、市場単価、補正市場単価、単位施工単価、補正単位施工単価のほか参考歩掛り等を使用する。改修を理由とした労務の所要量の割増し、単価の補正は行わない。</u></p> <p><u>ロ 執務並行改修の場合は、施工業者が執務者に配慮等しながら施工を行う事を前提として、表A－</u></p>	<p><u>7</u> 改修工事の取扱い</p> <p>(1) 改修工事の分類</p> <p>改修工事は、執務状態、部位、方法等により、分類できる。</p> <p>イ. 執務状態、部位、方法等による改修工事の分類</p> <div><div>改修工事（建物）</div><div><div>全館無人改修</div><div>外部全面改修・外部部分改修</div><div>内部全面改修・内部部分改修</div><div>執務並行改修</div><div>外部全面改修・外部部分改修</div><div>内部全面改修・内部部分改修</div></div></div> <p>ロ. 執務状態の区分</p> <p>改修工事は、工事期間における建物内の執務状況により、全館無人改修及び執務並行改修に積算上区分することができる。</p> <p>(イ) 全館無人改修：仮庁舎等が準備されている等、改修する建物全館が無人（執務者がいない）の状態で行う改修工事をいう。</p> <p>(ロ) 執務並行改修：建物に執務者がいる状態で行う改修工事をいい、施工場所と執務中の場所が区画されている状態の工事も含まれる。また、増築工事においても既存建物と取り合う部分の改修工事については、既存建物の執務者の有無の状態により分類する。</p> <p><u>なお、執務並行改修の場合は、施工業者が執務環境に配慮等しながら施工を行うことを前提として単価の補正を行う。</u></p> <p>ハ. 部位・方法の区分</p> <p>改修工事は、上記執務状態の区分による二つの区分を下記のとおりさらに細かく区分することができる。</p> <p>(イ) 外部全面改修：建物の屋根、外壁等の全面を改修する場合をいう。</p> <p>(ロ) 外部部分改修：建物の屋根、外壁等の小規模で部分的な改修及びそれらが点在する改修をいう。</p> <p>(ハ) 内部全面改修：建物の内部全面を改修する場合をいう。</p> <p>(ニ) 内部部分改修：部屋単位の床、壁、天井等の個別又は複合改修及びそれらが点在する改修をいう。</p> <p>間仕切り等の撤去・新設、又は設備改修等による取り合い周辺部分の改修をいう。</p> <p><u>(2) 執務並行改修の場合の単価の補正</u></p> <p><u>執務並行改修の場合は、施工業者が執務者に配慮等しながら施工をおこなう事を前提として単価の補正をおこなう。</u></p> <p><u>(3) 改修工事の積算に用いる単価の適用</u></p>



新旧対照表

改定後			改定前		
<u>1、表E－1及び表M－1のとおり、工種に応じて、複合単価、単位施工単価、補正単位施工単価については、労務の所要量の割増しを行い、市場単価及び補正市場単価は改修補正率を乗ずる。</u>					
<u>著しく作業効率が悪い場合においては、表A－1、表E－1及び表M－1によらず、実状を考慮して、労務の所要量の割増し、単価の補正を行う。</u>					
<u>単位施工単価については、ベース単価は複合単価の方法により算定することとなり、この複合単価に含まれる労務の所要量の割増しを行う。シフト単価については、物価資料の掲載価格をもとに以下の式により算定する。</u>					
<u>[工事場所が物価資料の掲載都市の場合]</u>					
改修割増し後のシフト単価	=	工事場所の材料単価、労務単価を用い、 労務の所要量を割増しの上、 算定したベース単価	×	物価資料掲載の同一規格・仕様、 工事場所の都市のシフト単価  物価資料掲載の同一規格・仕様、 工事場所の都市のベース単価	
<u>[工事場所が物価資料の掲載都市ではない場合]</u>					
改修割増し後のシフト単価	=	工事場所の材料単価、労務単価を用い、 労務の所要量を割増しの上、 算定したベース単価	×	物価資料掲載の同一規格・仕様、 工事場所を包括する地区を代表する都市のシフト単価  物価資料掲載の同一規格・仕様、 工事場所を包括する地区を代表する都市のベース単価	

<u>全館無人改修の場合は基準単価とし、執務並行改修の場合は表A－1、表E－1及び表M－1により、基準単価又は基準補正単価とすることを標準とする。なお、基準単価及び基準補正単価は次による。（表4）</u>		
<u>イ．基準単価</u>		
<u>単価基準の第2編、第3編、第4編及び本資料に定められた標準歩掛りによる複合単価並びに市場単価及び補正市場単価のほか、参考歩掛り等による複合単価。</u>		
<u>ロ．基準補正単価</u>		
<u>（イ）建築工事については、標準歩掛りによる複合単価は労務の所要量の15％増しを標準とする。</u>		
<u>また、市場単価及び補正市場単価においては、表A－1による改修補正率を標準として算定する。</u>		
<u>（ロ）電気設備工事については、標準歩掛りによる複合単価は労務の所要量の20％増しを標準とする。また、市場単価及び補正市場単価においては、表E－1による改修補正率を標準として算定する。</u>		
<u>（ハ）機械設備工事については、標準歩掛りによる複合単価は労務の所要量の20％増しを標準とする。また、市場単価及び補正市場単価においては、表M－1による改修補正率を標準として算定する。</u>		
<u>（ニ）著しく作業効率が悪い場合においては実状を考慮し労務費等を補正する。</u>		

<u>表4 改修工事の積算に用いる単価の適用</u>		
<u>執務状態の区分</u>	<u>単価の適用</u>	<u>使用する単価及び補正</u>
<u>全館無人改修</u>	<u>基準単価</u>	<u>複合単価、市場単価、補正市場単価をそのまま用いる</u>
<u>執務並行改修※</u>	<u>基準単価</u>	<u>複合単価、市場単価、補正市場単価をそのまま用いる</u>
	<u>基準補正単価</u>	<u>複合単価の労務の所要量15％又は20％増し</u> <u>・建築工事</u> <u>労務の所要量× 1.15（15％増し）</u> <u>・電気設備工事及び機械設備工事</u> <u>労務の所要量× 1.20（20％増し）</u> <u>市場単価×改修補正率(表 A・1、表 E・1、表 M・1)</u> <u>補正市場単価×改修補正率(表 A・1、表 E・1、表 M・1)</u>

<u>※執務並行改修における単価の適用は、表A－1、表E－1及び表M－1の工種ごとの「用いる単価」により、基準単価及び基準補正単価を用いる。</u>	
--	--

改定後					改定前					
表A－1　執務並行改修の場合の工種ごとの <u>労務の所要量割増し、改修補正率</u>					表A－1　執務並行改修の場合の工種ごとの <u>単価適用区分</u>					
工種	複合単価、 <u>単位施工単価、補正単位施工単価の労務の所要量割増し</u>	市場単価及び補正市場単価 <u>の</u> 改修補正率		備考	工種	<u>用いる単価</u>	基準補正単価の算定方法			備考
							複合単価 <u>労務の所要量補正</u>	市場単価及び補正市場単価 改修補正率		
仮設	－	－	－		仮設	<u>基準単価</u>	－	－	－	
土工	－	－	－		土工	<u>基準単価</u>	－	－	－	
地業	－	－	－		地業	<u>基準単価</u>	－	－	－	
鉄筋	－	－	－		鉄筋	<u>基準単価</u>	－	－	－	
コンクリート	－	－	－		コンクリート	<u>基準単価</u>	－	－	－	
型枠	－	－	－		型枠	<u>基準単価</u>	－	－	－	
鉄骨	－	－	－		鉄骨	<u>基準単価</u>	－	－	－	
既製コンクリート	<u>1.5%増し</u>	－	－		既製コンクリート	<u>基準補正単価</u>	<u>1.15</u>	－	－	
防水	<u>1.5%増し</u>	防水	1.07		防水	<u>基準補正単価</u>	<u>1.15</u>	防水	1.07	
		防水（シーリング）	1.13					防水（シーリング）	1.13	
石	<u>1.5%増し</u>	－	－		石	<u>基準補正単価</u>	<u>1.15</u>	－	－	
タイル	<u>1.5%増し</u>	－	－		タイル	<u>基準補正単価</u>	<u>1.15</u>	－	－	
木工	<u>1.5%増し</u>	－	－		木工	<u>基準補正単価</u>	<u>1.15</u>	－	－	
屋根及びとい	<u>1.5%増し</u>	－	－		屋根及びとい	<u>基準補正単価</u>	<u>1.15</u>	－	－	
金属	<u>1.5%増し</u>	金属	1.08		金属	<u>基準補正単価</u>	<u>1.15</u>	金属	1.08	
左官（仕上塗材仕上）	－	－	－		左官（仕上塗材仕上）	<u>基準単価</u>	－	－	－	
左官（仕上塗材仕上以外）	<u>1.5%増し</u>	左官（仕上塗材仕上以外）	1.14		左官（仕上塗材仕上以外）	<u>基準補正単価</u>	<u>1.15</u>	左官（仕上塗材仕上以外）	1.14	
建具	<u>1.5%増し</u>	建具（ガラス）	1.09		建具	<u>基準補正単価</u>	<u>1.15</u>	建材（ガラス）	1.09	
		建具（シーリング）	1.14					建材（シーリング）	1.14	
塗装（改修標仕仕様）	<u>1.5%増し</u>	塗装（改修標仕仕様）	1.14		塗装（改修標仕仕様）	<u>基準補正単価</u>	<u>1.15</u>	塗装（改修標仕仕様）	1.14	
内外装	<u>1.5%増し</u>	内外装	1.11		内外装	<u>基準補正単価</u>	<u>1.15</u>	内外装	1.11	
		内外装（ビニル床材）	1.08					内外装（ビニル床材）	1.08	
仕上げユニット	<u>1.5%増し</u>	－	－		仕上げユニット	<u>基準補正単価</u>	<u>1.15</u>	－	－	
排水	－	－	－		排水	<u>基準単価</u>	－	－	－	
構内舗装	－	－	－		構内舗装	<u>基準単価</u>	－	－	－	
植栽	－	－	－		植栽	<u>基準単価</u>	－	－	－	
仮設（改修）	－	－	－		仮設（改修）	<u>基準単価</u>	－	－	－	
撤去	－	－	－		撤去	<u>基準単価</u>	－	－	－	
外壁改修	－	－	－		外壁改修	<u>基準単価</u>	－	－	－	
とりこわし	－	－	－		とりこわし	<u>基準単価</u>	－	－	－	
注）－は該当する種類の単価がない又は労務の所要量の割増し、単価の補正は行わないことを示す。										

新旧対照表

改定後					改定前					
表E－1 執務並行改修の場合の工種ごとの <u>労務の所要量割増し、改修補正率</u>					表E－1 執務並行改修の場合の工種ごとの <u>単価適用区分</u>					
工種	複合単価、 <u>単位施工単価、補正単位施工単価の労務の所要量割増し</u>	市場単価及び補正市場単価 <u>の</u> 改修補正率		備考	工種	<u>用いる単価</u>	基準補正単価の算定方法			備考
							複合単価 <u>労務の所要量補正</u>	市場単価及び補正市場単価 改修補正率		
配管工事	<u>20％増し</u>	電線管、2種金属線び及び同ボックス	1.18		配管工事	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	電線管、2種金属線び及び同ボックス	1.18	
		ケーブルラック	1.14					ケーブルラック	1.14	
		位置ボックス及び位置ボックス用ボンディング	1.17					位置ボックス及び位置ボックス用ボンディング	1.17	
		プルボックス	1.12					プルボックス	1.12	
		プルボックス用接地端子	1.00					プルボックス用接地端子	1.00	
		防火区画貫通処理 ケーブルラック用(壁・床)	1.13					防火区画貫通処理 ケーブルラック用(壁・床)	1.13	
		防火区画貫通処理 金属管・丸型用	1.05					防火区画貫通処理 金属管・丸型用	1.05	
		(電動機その他接続材工事) 金属製可とう電線管	1.14					(電動機その他接続材工事) 金属製可とう電線管	1.14	
配線工事	<u>20％増し</u>	600V 絶縁電線及び600V 絶縁ケーブル	1.16		配線工事	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	600V 絶縁電線及び600V 絶縁ケーブル	1.16	
接地工事（屋内）	<u>20％増し</u>	－	－		接地工事（屋内）	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
接地工事（屋外）	－	(接地極工事) 銅板式、銅覆鋼棒、接地極埋設票(金属製)	－		接地工事（屋外）	<u>基準単価</u>	－	(接地極工事) 銅板式、銅覆鋼棒、接地極埋設票（金属製）	－	
塗装工事	<u>20％増し</u>	－	－		塗装工事	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
機器搬入	<u>20％増し</u>	－	－		機器搬入	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
電灯設備	<u>20％増し</u>	－	－		電灯設備	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
動力設備	<u>20％増し</u>	－	－		動力設備	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
雷保護設備	<u>20％増し</u>	－	－		雷保護設備	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
受変電設備	<u>20％増し</u>	－	－		受変電設備	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
電力貯蔵設備	<u>20％増し</u>	－	－		電力貯蔵設備	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
架空線路	－	－	－		架空線路	<u>基準単価</u>	－	－	－	
地中線路	－	－	－		地中線路	<u>基準単価</u>	－	－	－	
構内交換設備	<u>20％増し</u>	－	－		構内交換設備	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
情報表示・拡声設備	<u>20％増し</u>	－	－		情報表示・拡声設備	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
誘導支援設備	<u>20％増し</u>	－	－		誘導支援設備	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
テレビ共同受信設備	<u>20％増し</u>	－	－		テレビ共同受信設備	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
監視カメラ設備	<u>20％増し</u>	－	－		監視カメラ設備	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
火災報知設備	<u>20％増し</u>	－	－		火災報知設備	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
撤去（再使用しない）	－	－	－		撤去（再使用しない）	<u>基準単価</u>	－	－	－	
撤去（再使用する）	－	－	－		撤去（再使用する）	<u>基準単価</u>	－	－	－	
再取付け	<u>20％増し</u>	－	－		再取付け	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
機器搬出	<u>20％増し</u>	－	－		機器搬出	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
はつり工事	<u>20％増し</u>	－	－		はつり工事	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－		
<u>注）－は該当する種類の単価がない又は労務の所要量の割増し、単価の補正は行わないことを示す。</u> 屋外、共同溝等においては原則として <u>労務の所要量割増しは行わない。</u>					<u>注）屋外、共同溝等においては原則として基準補正単価を適用しない。</u>					



改定後					改定前					
表M－1 執務並行改修の場合の工種ごとの <u>労務の所要量割増し、改修補正率</u>					表M－1 執務並行改修の場合の工種ごとの <u>単価適用区分</u>					
工種	複合単価、 <u>単位施工単価、補正単位施工単価の労務の所要量割増し</u>	市場単価及び補正市場単価 <u>の</u> 改修補正率		備考	工種	<u>用いる単価</u>	基準補正単価の算定方法		備考	
							複合単価 <u>労務の所要量補正</u>	市場単価及び補正市場単価 改修補正率		
配管工事 (屋内一般、機械室・便所)	<u>20％増し</u>	－	－	屋上及び 外壁施工含む	配管工事 (屋内一般、機械室・便所)	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	屋上及び 外壁施工含む
配管工事 (屋外・共同溝)	－	－	－		配管工事 (屋外・共同溝)	<u>基準単価</u>	－	－	－	
配管工事(地中)	－	－	－		配管工事(地中)	<u>基準単価</u>	－	－	－	
配管附属品	<u>20％増し</u>	－	－		配管附属品	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
保温工事	<u>20％増し</u>	配管用、ダクト用及び消音内貼	1.14		保温工事	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	配管用、ダクト用及び消音内貼	1.14	
塗装及び防錆工事	<u>20％増し</u>	－	－		塗装及び防錆工事	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
機器搬入	<u>20％増し</u>	－	－		機器搬入	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
総合調整	<u>20％増し</u>	－	－		総合調整	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
土工事	－	－	－		土工事	<u>基準単価</u>	－	－	－	
コンクリート工事	<u>20％増し</u>	－	－	屋内基礎等	コンクリート工事	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	屋内基礎等
機器類の据付	<u>20％増し</u>	－	－		機器類の据付	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
ダクト設備	<u>20％増し</u>	低圧ダクト、排煙ダクト及び低圧ファン類	1.14		ダクト設備	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	低圧ダクト、排煙ダクト及び低圧ファン類	1.14	
ダクト附属品	<u>20％増し</u>	既製品ボックス、制気口、ダンパー等の取付手間のみ	1.20		ダクト附属品	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	既製品ボックス、制気口、ダンパー等の取付手間のみ	1.20	
自動制御設備	<u>20％増し</u>	－	－	歩掛りによる場合	自動制御設備	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	歩掛りによる場合
衛生器具設備 (ユニットを除く)	<u>20％増し</u>	取付手間のみ	1.20		衛生器具設備 (ユニットを除く)	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	取付手間のみ	1.20	
桧類	－	－	－		桧類	<u>基準単価</u>	－	－	－	
消火設備 (特殊消火を除く)	<u>20％増し</u>	－	－	歩掛りによる場合	消火設備 (特殊消火を除く)	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	歩掛りによる場合
配管分岐・切断	<u>20％増し</u>	－	－		配管分岐・切断	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
機器搬出	<u>20％増し</u>	－	－		機器搬出	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
はつり工事	<u>20％増し</u>	－	－		はつり工事	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
ダクト端部閉塞	<u>20％増し</u>	－	－		ダクト端部閉塞	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
インバート改修	－	－	－		インバート改修	<u>基準単価</u>	－	－	－	
撤去(再使用する)	－	－	－		撤去(再使用する)	<u>基準単価</u>	－	－	－	
撤去(再使用しない)	－	－	－		撤去(再使用しない)	<u>基準単価</u>	－	－	－	
再取付け	<u>20％増し</u>	－	－		再取付け	<u>基準補正単価</u>	<u>1.20</u>	－	－	
<u>注) ーは該当する種類の単価がない又は労務の所要量の割増し、単価の補正は行わないことを示す。</u> 屋外、共同溝等においては原則として <u>労務の所要量割増しは行わない。</u>					<u>注) 屋外、共同溝等においては原則として基準補正単価を適用しない。</u>					

新旧対照表

改定後	改定前
<p>(<u>3</u>) 改修工事の積算にあたっての留意事項</p> <p>改修工事の積算にあたっては、実状、施工条件明示事項等を考慮し、施工計画上必要となる仮設類の盛替え費用及び現場施工の制約を考慮した費用等を適切に積算する。また、製造業者又は専門工事業者の見積価格等を参考にする場合は、当該工事の施工条件を満たした内容であることを確認する。</p> <p>なお、施工区分、施工手順等に応じた積算における留意事項は以下のとおり。</p> <p>イ．荷揚用揚重機械器具は、設計図書に条件明示された施工区分及び施工手順にあった回数等を十分検討し、適切に計上する。</p> <p>ロ．荷揚用揚重機械器具による揚重ができない場合は、人力による小運搬等を現場状況に応じて適切に計上する。</p> <p>ハ．直接仮設の墨出し、養生、整理清掃後片付け、足場等が、設計図書に条件明示された施工区分、施工手順等の現場状況により、複数回生じる場合は、適切に計上する。</p> <p>ニ．発生材については、施工区分、施工手順等の現場状況によりストックすることができず、その都度搬出しなくてはならない場合、または運搬車の規格が通常とは異なる等の場合、現場状況に応じて適切に計上すること。</p> <p><u>9</u> 工事量が僅少等の取扱い</p> <p>工事量が僅少の場合、施工場所が点在する場合、工程上連続作業が困難な場合等の単価及び価格は、施工に最低限必要な単位の材料、労務、機械器具等の費用を実状に応じて算定する。</p> <p><u>10</u> 時間外、深夜及び休日の労働についての労務単価</p> <p>(1) 公共工事設計労務単価（以下「労務単価」という。）は、所定労働時間内8時間当たりの単価であり、時間外、深夜及び休日の労働についての割増賃金は含まれない。</p> <p>(2) 時間外及び深夜の労働は、施工時期・施工時間が制限され、割増賃金を見込む必要が設計図書に明示された場合に、労務費を下記により算定する。ただし、時間外の労働は、変形労働時間制等を考慮し、実状に応じて積算する。</p> <p>労務費（総額）＝労務単価＋労務単価×K×割増すべき時間数</p> <p>ただし、K（割増賃金係数）＝割増対象賃金比×1／8×割増係数とする。</p> <p>なお、K（割増賃金係数）は当該年度の「労務単価」の「割増対象賃金比及び1時間当り割増賃金係数」による。</p> <p>また、市場単価<u>及び単位施工単価</u>の細目工種において、時間外及び深夜の労働について割増賃金を見込む必要がある場合は、割増賃金に相当する割増し率を算定し市場単価<u>及び単位施工単価</u>を補正する。</p> <p>(3) 休日の労働は、緊急時等、やむを得ず法定休日に作業を行い、割増賃金を見込む必要が設計図書に明示された場合に、労務費を下記により算定する。なお、法定休日とは、使用者の定める週一回以上、もしくは4週間のうちに4日以上の日とする。（労働基準法 第35条）</p> <p>労務費（総額）＝労務単価×K×割増すべき時間数</p> <p>なお、K（割増賃金係数）の取扱いは（2）による。</p> <p>また、市場単価<u>及び単位施工単価</u>の細目工種において、休日の労働について割増賃金を見込む必要</p>	<p>(<u>4</u>) 改修工事の積算にあたっての留意事項</p> <p>改修工事の積算にあたっては、実状、施工条件明示事項等を考慮し、施工計画上必要となる仮設類の盛替え費用及び現場施工の制約を考慮した費用等を適切に積算する。また、製造業者又は専門工事業者の見積価格等を参考にする場合は、当該工事の施工条件を満たした内容であることを確認する。</p> <p>なお、施工区分、施工手順等に応じた積算における留意事項は以下のとおり。</p> <p>イ．荷揚用揚重機械器具は、設計図書に条件明示された施工区分及び施工手順にあった回数等を十分検討し、適切に計上する。</p> <p>ロ．荷揚用揚重機械器具による揚重ができない場合は、人力による小運搬等を現場状況に応じて適切に計上する。</p> <p>ハ．直接仮設の墨出し、養生、整理清掃後片付け、足場等が、設計図書に条件明示された施工区分、施工手順等の現場状況により、複数回生じる場合は、適切に計上する。</p> <p>ニ．発生材については、施工区分、施工手順等の現場状況によりストックすることができず、その都度搬出しなくてはならない場合、または運搬車の規格が通常とは異なる等の場合、現場状況に応じて適切に計上すること。</p> <p><u>8</u> 工事量が僅少等の取扱い</p> <p>工事量が僅少の場合、施工場所が点在する場合、工程上連続作業が困難な場合等の単価及び価格は、施工に最低限必要な単位の材料、労務、機械器具等の費用を実状に応じて算定する。</p> <p><u>9</u> 時間外、深夜及び休日の労働についての労務単価</p> <p>(1) 公共工事設計労務単価（以下「労務単価」という。）は、所定労働時間内8時間当たりの単価であり、時間外、深夜及び休日の労働についての割増賃金は含まれない。</p> <p>(2) 時間外及び深夜の労働は、施工時期・施工時間が制限され、割増賃金を見込む必要が設計図書に明示された場合に、労務費を下記により算定する。ただし、時間外の労働は、変形労働時間制等を考慮し、実状に応じて積算する。</p> <p>労務費（総額）＝労務単価＋労務単価×K×割増すべき時間数</p> <p>ただし、K（割増賃金係数）＝割増対象賃金比×1／8×割増係数とする。</p> <p>なお、K（割増賃金係数）は当該年度の「労務単価」の「割増対象賃金比及び1時間当り割増賃金係数」による。</p> <p>また、市場単価の細目工種において、時間外及び深夜の労働について割増賃金を見込む必要がある場合は、割増賃金に相当する割増し率を算定し市場単価を補正する。</p> <p>(3) 休日の労働は、緊急時等、やむを得ず法定休日に作業を行い、割増賃金を見込む必要が設計図書に明示された場合に、労務費を下記により算定する。なお、法定休日とは、使用者の定める週一回以上、もしくは4週間のうちに4日以上の日とする。（労働基準法 第35条）</p> <p>労務費（総額）＝労務単価×K×割増すべき時間数</p> <p>なお、K（割増賃金係数）の取扱いは（2）による。</p> <p>また、市場単価の細目工種において、休日の労働について割増賃金を見込む必要がある場合は、割</p>

新旧対照表

改定後	改定前
<p>がある場合は、割増賃金に相当する割増し率を算定し市場単価及び単位施工単価を補正する。</p> <p>ただし、緊急時等、やむを得ない場合に該当しない法定休日に作業を行い、別の日を振替休日とした場合は適用しない。</p> <p><b>1.1</b> 寒冷地、離島等の取扱い</p> <p>（１）寒冷地における除雪に関する費用及び寒中養生のための費用等は、実状に応じて積算する。</p> <p>（２）離島等における工事の積算にあたっては、材料・労務の調達、プラント・機械器具の有無、運搬方法等についての特殊事情を調査・検討し、実状に応じて積算する。</p> <p><b>1.2</b> 舗装版切断時の濁水の処理等に係る費用</p> <p>アスファルトコンクリート舗装版、セメントコンクリート舗装版及びこれらの複合舗装版の切断作業に伴い生じる濁水の処理等（回収、運搬、処分）に係る費用は、以下により直接工事費として計上する。</p> <p>（１）数量積算</p> <p>排水吸引機能及び自動回収機能を有する切断機械を使用した切断作業に伴い回収される濁水量として、次式により算出する。</p> $V = 0.023 \times t \times L$ <p>V：回収濁水量（m<sup>3</sup>） t：舗装版厚（m） L：切断延長（m）</p> <p>※端数処理、有効桁数及び工事費内訳書への計上は、建築数量積算基準による。</p> <p>（２）算定</p> <p>①回収費用</p> <p>自動回収機能を有する切断機械を使用することを前提とするため、計上しない。</p> <p>②運搬費用</p> <p>委託先処理施設を想定し、建設場所からの距離に応じた２t級ダンプトラックによる運搬費用を計上する。</p> <p>③処分費用</p> <p>委託先処理施設を想定し、回収濁水量に応じた処分費を計上する。</p> <p><b>1.3</b> 有価物の処理について</p> <p>撤去工事における発生材の中に有価物がある場合は、原則として発生処分費として減額計上する。</p> <p><b>1.4</b> 設計変更時の取扱い</p> <p>単価基準第１編５の場合の設計変更時の積算において、当初設計の工事費内訳書に対して種目が追加された場合の単価及び価格は、総括監督員の指示又は承諾した時点の単価及び価格とする。</p> <p><b>1.5</b> その他</p> <p>（１）「建築数量積算基準」及び「建築設備数量積算基準」により算定した数量に対応する単価が一円単位の場合の数量は、整数とする。</p> <p>（２）別紙明細書にて一式計上された金額に変更がある場合は、原則として、最終金額（原設計の数値処理前金額＋設計変更の数値処理前金額）の数値処理を行った後、既契約計上金額（数値処理後金額）を減じたものとする。</p>	<p>増賃金に相当する割増し率を算定し市場単価を補正する。</p> <p>ただし、緊急時等、やむを得ない場合に該当しない法定休日に作業を行い、別の日を振替休日とした場合は適用しない。</p> <p><b>1.0</b> 寒冷地、離島等の取扱い</p> <p>（１）寒冷地における除雪に関する費用及び寒中養生のための費用等は、実状に応じて積算する。</p> <p>（２）離島等における工事の積算にあたっては、材料・労務の調達、プラント・機械器具の有無、運搬方法等についての特殊事情を調査・検討し、実状に応じて積算する。</p> <p><b>1.1</b> 舗装版切断時の濁水の処理等に係る費用</p> <p>アスファルトコンクリート舗装版、セメントコンクリート舗装版及びこれらの複合舗装版の切断作業に伴い生じる濁水の処理等（回収、運搬、処分）に係る費用は、以下により直接工事費として計上する。</p> <p>（１）数量積算</p> <p>排水吸引機能及び自動回収機能を有する切断機械を使用した切断作業に伴い回収される濁水量として、次式により算出する。</p> $V = 0.023 \times t \times L$ <p>V：回収濁水量（m<sup>3</sup>） t：舗装版厚（m） L：切断延長（m）</p> <p>※端数処理、有効桁数及び工事費内訳書への計上は、建築数量積算基準による。</p> <p>（２）算定</p> <p>①回収費用</p> <p>自動回収機能を有する切断機械を使用することを前提とするため、計上しない。</p> <p>②運搬費用</p> <p>委託先処理施設を想定し、建設場所からの距離に応じた２t級ダンプトラックによる運搬費用を計上する。</p> <p>③処分費用</p> <p>委託先処理施設を想定し、回収濁水量に応じた処分費を計上する。</p> <p><b>1.2</b> 有価物の処理について</p> <p>撤去工事における発生材の中に有価物がある場合は、原則として発生処分費として減額計上する。</p> <p><b>1.3</b> 設計変更時の取扱い</p> <p>単価基準第１編５の場合の設計変更時の積算において、当初設計の工事費内訳書に対して種目が追加された場合の単価及び価格は、総括監督員の指示又は承諾した時点の単価及び価格とする。</p> <p><b>1.4</b> その他</p> <p>（１）「建築数量積算基準」及び「建築設備数量積算基準」により算定した数量に対応する単価が一円単位の場合の数量は、整数とする。</p> <p>（２）別紙明細書にて一式計上された金額に変更がある場合は、原則として、最終金額（原設計の数値処理前金額＋設計変更の数値処理前金額）の数値処理を行った後、既契約計上金額（数値処理後金額）を減じたものとする。</p>

新旧対照表

改定後	改定前
<p>（３）設計変更において、当初請負比率を乗じる前の価格は第３編第１章１に準じる。なお、当初請負比率を乗じた後の価格は、一万円単位（一万円未満切り捨て）とする。</p>	<p>（３）設計変更において、当初請負比率を乗じる前の価格は第３編第１章１に準じる。なお、当初請負比率を乗じた後の価格は、一万円単位（一万円未満切り捨て）とする。</p>

改 定 後	改 定 前
<div>第 2 章 建 築 工 事</div> <div>第 1 節 新 営 工 事</div> <div>第 1 項 仮 設</div> <div>1 一般事項</div> <div><p>(1) 仮設は、設計図書等に基づき工事内容や施工条件を確認し適切に算出する。</p><p>なお、設計変更に伴う工事費の変更は、設計図書により記載内容が変更された場合とする。</p><p>(2) 施工条件が明示された場合は、その内容により算出する。</p><p>(3) 外部足場及び内部足場は、手すり先行方式枠組本足場を標準とする。</p></div> <div>2 単価、価格等</div> <div><div>(1) 共通仮設</div><div>イ．仮囲い</div><p>仮囲鋼板にイメージアップのための塗装等が設計図書に明示された場合は、必要な費用を計上する。</p><div>ロ．仮設鉄板敷</div><p>仮設鉄板敷の整備費は、基本料に加え通常の使用で発生する反り等の復旧に係る費用を含む。</p><div>ハ．移動式揚重機</div><p>(イ) 移動式揚重機に係る費用は、設置日数を別途算定し計上する。</p><p>(ロ)トラッククレーンを標準とする。ただし、4．9 t 吊を超え1 0 0 t 吊未満については、ラフテレーンクレーンとする。</p><p><u>(ハ) トラッククレーン1 0 0 t 吊以上に係る費用は、施工条件明示により専門工事業者からの見積価格等を参考に定める。</u></p></div> <div><div>(2) 直接仮設</div><div>イ．遣方、墨出し及び養生・整理清掃後片付け</div><p>(イ) 鉄骨造の地上部は、表A 1－1により単価の補正を行う。</p><p>(ロ) 鉄筋コンクリート造と鉄骨鉄筋コンクリート造を標準とし、鉄骨造の墨出し及び養生・整理清掃後片付けを地下部分及び付帯部分（ドライエリア、ピロティ、ピット、外部階段、吹き抜け、バルコニー、外部廊下等）で使用する場合は、表A 1－1と表A 1－2により補正を行う。</p><div>ロ．枠組本足場</div><p>(イ) 枠組本足場の設置の標準は、表A 1－3を参考に選定する。</p></div>	<div>第 2 章 建 築 工 事</div> <div>第 1 節 新 営 工 事</div> <div>第 1 項 仮 設</div> <div>1 一般事項</div> <div><p>(1) 仮設は、設計図書等に基づき工事内容や施工条件を確認し適切に算出する。</p><p>なお、設計変更に伴う工事費の変更は、設計図書により記載内容が変更された場合とする。</p><p>(2) 施工条件が明示された場合は、その内容により算出する。</p><p>(3) 外部足場及び内部足場は、手すり先行方式枠組本足場を標準とする。</p></div> <div>2 単価、価格等</div> <div><div>(1) 共通仮設</div><div>イ．仮囲い</div><p>仮囲鋼板にイメージアップのための塗装等が設計図書に明示された場合は、必要な費用を計上する。</p><div>ロ．仮設鉄板敷</div><p>仮設鉄板敷の整備費は、基本料に加え通常の使用で発生する反り等の復旧に係る費用を含む。</p><div>ハ．移動式揚重機</div><p>(イ) 移動式揚重機に係る費用は、設置日数を別途算定し計上する。</p><p>(ロ)トラッククレーンを標準とする。ただし、4．9 t 吊を超え1 0 0 t 吊未満については、ラフテレーンクレーンとする。</p></div> <div><div>(2) 直接仮設</div><div>イ．遣方、墨出し及び養生・整理清掃後片付け</div><p>(イ) 鉄骨造の地上部は、表A 1－1により単価の補正を行う。</p><p>(ロ) 鉄筋コンクリート造と鉄骨鉄筋コンクリート造を標準とし、鉄骨造の墨出し及び養生・整理清掃後片付けを地下部分及び付帯部分（ドライエリア、ピロティ、ピット、外部階段、吹き抜け、バルコニー、外部廊下等）で使用する場合は、表A 1－1と表A 1－2により補正を行う。</p><div>ロ．枠組本足場</div><p>(イ) 枠組本足場の設置の標準は、表A 1－3を参考に選定する。</p></div>



改 定 後	改 定 前
<div>第 4 項 鉄 筋</div> <div>1 一般事項</div> <div>細目工種は、単価基準によるほか表A 4－1による。</div> <div>2 単価、価格等</div> <div>(1) 鉄筋資材単価</div> <div>スクラップ単価は、物価資料の掲載価格のうち規格「鉄屑 ヘビー H 2」とする。</div> <div>なお、鉄筋屑等のスクラップ数量は、所要数量から設計数量を差し引いた数量の7 0 %とする。</div> <div>(2) 鉄筋加工組立</div> <div><u>イ. 工場管理費は、中間値を標準とする。なお、地域性などにより実状が異なる場合は、この限りでない。</u></div>	<div>第 4 項 鉄 筋</div> <div>1 一般事項</div> <div>細目工種は、単価基準によるほか表A 4－1による。</div> <div>2 単価、価格等</div> <div>(1) 鉄筋資材単価</div> <div>スクラップ単価は、物価資料の掲載価格のうち規格「鉄屑 ヘビー H 2」とする。</div> <div>なお、鉄筋屑等のスクラップ数量は、所要数量から設計数量を差し引いた数量の7 0 %とする。</div> <div>(2) 鉄筋加工組立</div>

改 定 後	改 定 前																								
<p><u>ロ. RC ラン構造 階高 3.5～4.0m 程度 形状単純の加工及び組立において細物とはD16 以下、太物とはD19 以上とする。また、太物と細物の構成比は 40:60 程度を標準とする。</u></p> <p><u>ハ. 鉄筋現場加工は、鉄筋工場加工のベース歩掛りを用い、労務歩掛りに 1. 2 0 を乗じるとともに、工場管理費は含めないで算定する。なお、これによりがたい場合は専門工事業者の見積価格等による。</u></p> <p><u>ニ. 梁貫通孔補強鉄筋現場加工は、梁貫通孔補強鉄筋工場加工の標準歩掛りを用い、労務歩掛りに太物は 1. 5 8、細物は 1. 3 8 を乗じるとともに、工場管理費は含めないで算定する。なお、これによりがたい場合は専門工事業者の見積価格等による。</u></p> <p><u>ホ. 表 A 4－1 鉄筋加工組立 S 造床版は、鉄骨造で床版がデッキプレート等を使用したコンクリート床版の場合に使用する。</u></p> <p><u>ヘ. 表 A 4－1 鉄筋加工組立 小型構造物は、雑工作物の擁壁、囲障基礎、門等に使用する。ただし、連続する擁壁等を施工する場合は、<u>単位施工単価</u>の鉄筋コンクリート造壁式構造を適用する。</u></p> <p>（3）鉄筋運搬</p> <p>鉄筋運搬用トラックの規格は <u>1 0</u> t 車を標準とする。</p> <p>ただし、建築構造物の規模や敷地条件等により <u>4</u> t 車を考慮する。</p> <p>表 A4－1 補正<u>単位施工単価</u></p> <table><tr><th>細 目</th><th>摘 要</th><th>単位</th><th>備 考</th></tr><tr><td>鉄筋加工組立</td><td>S造 床版</td><td>t</td><td></td></tr><tr><td>鉄筋加工組立</td><td>小型構造物</td><td>t</td><td></td></tr></table> <p><u>（4）ガス圧接</u></p> <p><u>アセチレン及び酸素について、物価資料に掲載されている都市以外の単価の把握が困難な場合には、工事場所を包括する地区を代表する都市の単価を準用することができる（離島や遠方等で実態が異なる場合は除く）。</u></p> <p>第 5 項 （略）</p> <p>第 6 項 型 枠</p> <p>1 一般事項</p> <p>（1）細目工種は、単価基準によるほか表 A 6－1 による。</p> <p>（2）細目工種は、第 4 編第 1 章 3 によるほか、表 A 6－2 による。</p>	細 目	摘 要	単位	備 考	鉄筋加工組立	S造 床版	t		鉄筋加工組立	小型構造物	t		<p><u>イ. 現場加工となる場合は専門工事業者の見積価格等による。</u></p> <p><u>ロ. 表 A 4－1 鉄筋加工組立 S 造床版は、鉄骨造で床版がデッキプレート等を使用したコンクリート床版の場合に使用する。</u></p> <p><u>ハ. 表 A 4－1 鉄筋加工組立 小型構造物は、雑工作物の擁壁、囲障基礎、門等に使用する。ただし、連続する擁壁等を施工する場合は、<u>市場単価</u>の鉄筋コンクリート造壁式構造を適用する。</u></p> <p>（3）鉄筋運搬</p> <p>鉄筋運搬用トラックの規格は <u>4</u> t 車を標準とする。</p> <p>ただし、建築構造物の規模や敷地条件等により <u>1 0</u> t 車を考慮する。</p> <p>表 A4－1 補正<u>市場単価</u></p> <table><tr><th>細 目</th><th>摘 要</th><th>単位</th><th>備 考</th></tr><tr><td>鉄筋加工組立</td><td>S造 床版</td><td>t</td><td></td></tr><tr><td>鉄筋加工組立</td><td>小型構造物</td><td>t</td><td></td></tr></table> <p>第 5 項 （略）</p> <p>第 6 項 型 枠</p> <p>1 一般事項</p> <p>（1）細目工種は、単価基準によるほか表 A 6－1 による。</p> <p>（2）細目工種は、第 4 編第 1 章 3 によるほか、表 A 6－2 による。</p>	細 目	摘 要	単位	備 考	鉄筋加工組立	S造 床版	t		鉄筋加工組立	小型構造物	t	
細 目	摘 要	単位	備 考																						
鉄筋加工組立	S造 床版	t																							
鉄筋加工組立	小型構造物	t																							
細 目	摘 要	単位	備 考																						
鉄筋加工組立	S造 床版	t																							
鉄筋加工組立	小型構造物	t																							

改 定 後	改 定 前																																																																								
<p>(3) 型枠材（丸パイプ及びパイプサポート類も含む）は型枠業者が回収する。</p> <p>(4) 型枠組立解体時に発生した鉄線、釘類及び端材の処理費は、共通仮設費の屋外整理清掃費に含まれる。</p> <p>2 単価、価格等</p> <p>(1) 合板型枠</p> <p>イ．埋め殺しの場合は、<u>単位施工単価</u>及び補正<u>単位施工単価</u>を適用しない。</p> <p>ロ．型枠の転用率が低い場合等は、小型構造物用型枠を使用する。</p> <p>        なお、連続する擁壁等を施工する場合は、<u>単位施工単価</u>及び補正<u>単位施工単価</u>の壁式構造（基礎部または地上軸部）を適用する。</p> <p>ハ．普通型枠にコーンを使用する場合、普通型枠にコーンを加算する。また、コーン処理を別途計上する。</p> <p>(2) 型枠運搬</p> <p>        型枠運搬用トラックの規格は4 t 車を標準とする。</p> <p>        ただし、建築構造物の規模や 敷地条件等により10 t 車を考慮する。</p> <p>(3) その他</p> <p>        特殊な型枠を使用する場合は物価資料による掲載価格、専門工事業者の見積価格等により算出する。</p> <p>表 A6 - 1 補正<u>単位施工単価</u></p> <table><tr><th>細 目</th><th>摘 要</th><th>単位</th><th>備 考</th></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>テール構造・壁式構造 基礎部B種</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>テール構造・壁式構造 基礎部C種</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>テール構造 地下軸部 A種 階高 5.0m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>テール構造 地下軸部 B種 階高 5.0m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>テール構造 地下軸部 C種 階高 5.0m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>テール構造 地上軸部 A種 階高 3.5 ～ 4.0m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>壁式構造 地上軸部 A種 階高 2.8m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>小型構造物用型枠</td><td>擁壁、囲障の基礎等</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr></table>	細 目	摘 要	単位	備 考	打放し合板型枠	テール構造・壁式構造 基礎部B種	m <sup>2</sup>		打放し合板型枠	テール構造・壁式構造 基礎部C種	m <sup>2</sup>		打放し合板型枠	テール構造 地下軸部 A種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>		打放し合板型枠	テール構造 地下軸部 B種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>		打放し合板型枠	テール構造 地下軸部 C種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>		打放し合板型枠	テール構造 地上軸部 A種 階高 3.5 ～ 4.0m程度	m <sup>2</sup>		打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部 A種 階高 2.8m程度	m <sup>2</sup>		小型構造物用型枠	擁壁、囲障の基礎等	m <sup>2</sup>		<p>(3) 型枠材（丸パイプ及びパイプサポート類も含む）は型枠業者が回収する。</p> <p>(4) 型枠組立解体時に発生した鉄線、釘類及び端材の処理費は、共通仮設費の屋外整理清掃費に含まれる。</p> <p>2 単価、価格等</p> <p>(1) 合板型枠</p> <p>イ．埋め殺しの場合は、<u>市場単価</u>及び補正<u>市場単価</u>を適用しない。</p> <p>ロ．型枠の転用率が低い場合等は、小型構造物用型枠を使用する。</p> <p>        なお、連続する擁壁等を施工する場合は、<u>市場単価</u>及び補正<u>市場単価</u>の壁式構造（基礎部または地上軸部）を適用する。</p> <p>ハ．普通型枠にコーンを使用する場合、普通型枠にコーンを加算する。また、コーン処理を別途計上する。</p> <p>(2) 型枠運搬</p> <p>        型枠運搬用トラックの規格は4 t 車を標準とする。</p> <p>        ただし、建築構造物の規模や 敷地条件等により10 t 車を考慮する。</p> <p>(3) その他</p> <p>        特殊な型枠を使用する場合は物価資料による掲載価格、専門工事業者の見積価格等により算出する。</p> <p>表 A6 - 1 補正<u>市場単価</u></p> <table><tr><th>細 目</th><th>摘 要</th><th>単位</th><th>備 考</th></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>テール構造・壁式構造 基礎部B種</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>テール構造・壁式構造 基礎部C種</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>テール構造 地下軸部 A種 階高 5.0m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>テール構造 地下軸部 B種 階高 5.0m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>テール構造 地下軸部 C種 階高 5.0m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>テール構造 地上軸部 A種 階高 3.5 ～ 4.0m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>壁式構造 地上軸部 A種 階高 2.8m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>小型構造物用型枠</td><td>擁壁、囲障の基礎等</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr></table>	細 目	摘 要	単位	備 考	打放し合板型枠	テール構造・壁式構造 基礎部B種	m <sup>2</sup>		打放し合板型枠	テール構造・壁式構造 基礎部C種	m <sup>2</sup>		打放し合板型枠	テール構造 地下軸部 A種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>		打放し合板型枠	テール構造 地下軸部 B種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>		打放し合板型枠	テール構造 地下軸部 C種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>		打放し合板型枠	テール構造 地上軸部 A種 階高 3.5 ～ 4.0m程度	m <sup>2</sup>		打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部 A種 階高 2.8m程度	m <sup>2</sup>		小型構造物用型枠	擁壁、囲障の基礎等	m <sup>2</sup>	
細 目	摘 要	単位	備 考																																																																						
打放し合板型枠	テール構造・壁式構造 基礎部B種	m <sup>2</sup>																																																																							
打放し合板型枠	テール構造・壁式構造 基礎部C種	m <sup>2</sup>																																																																							
打放し合板型枠	テール構造 地下軸部 A種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>																																																																							
打放し合板型枠	テール構造 地下軸部 B種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>																																																																							
打放し合板型枠	テール構造 地下軸部 C種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>																																																																							
打放し合板型枠	テール構造 地上軸部 A種 階高 3.5 ～ 4.0m程度	m <sup>2</sup>																																																																							
打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部 A種 階高 2.8m程度	m <sup>2</sup>																																																																							
小型構造物用型枠	擁壁、囲障の基礎等	m <sup>2</sup>																																																																							
細 目	摘 要	単位	備 考																																																																						
打放し合板型枠	テール構造・壁式構造 基礎部B種	m <sup>2</sup>																																																																							
打放し合板型枠	テール構造・壁式構造 基礎部C種	m <sup>2</sup>																																																																							
打放し合板型枠	テール構造 地下軸部 A種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>																																																																							
打放し合板型枠	テール構造 地下軸部 B種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>																																																																							
打放し合板型枠	テール構造 地下軸部 C種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>																																																																							
打放し合板型枠	テール構造 地上軸部 A種 階高 3.5 ～ 4.0m程度	m <sup>2</sup>																																																																							
打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部 A種 階高 2.8m程度	m <sup>2</sup>																																																																							
小型構造物用型枠	擁壁、囲障の基礎等	m <sup>2</sup>																																																																							

新旧対照表

改 定 後	改 定 前
第 7 項 鉄 骨	第 7 項 鉄 骨
1 一般事項	1 一般事項
現場建方における低層とは平屋建とし、中層とは6階建程度とする。	現場建方における低層とは平屋建とし、中層とは6階建程度とする。
2 単価、価格等	2 単価、価格等
(1) 鋼材単価	(1) 鋼材単価
イ. 鋼材単価は、 <u>製造業者の直接</u> 販売価格、又は <u>その他の取引価格</u> （市中価格）による。	イ. 鋼材単価は、販売価格又は市中価格による。
なお、 <u>製造業者の直接</u> 販売価格については <u>規格等に応じた費用</u> （エキストラ価格）を加算する。	なお、実勢販売価格についてはエキストラ価格を加算する。
【鋼材単価算出例】	【鋼材単価算出例】
SN400A CT-200×200×8×12 長さ18.5m の場合	SN400A CT-200×200×8×12 長さ18.5m の場合
ベース価格 H形鋼 <u>製造業者の直接</u> 販売価格（無規格200以下）	ベース価格 H形鋼実勢販売価格（無規格200以下）
エキストラ価格 規格エキストラ（SN400A加算）	エキストラ価格 規格エキストラ（SN400A加算）
寸法エキストラ（長さ加算）	寸法エキストラ（長さ加算）
加工エキストラ（CT形鋼加算）等	加工エキストラ（CT形鋼加算）等
上記のベース価格とエキストラ価格を加算する	上記のベース価格とエキストラ価格を加算する
ロ. ベース価格の区分は、表A7-1による。	ロ. ベース価格の区分は、表A7-1による。
ハ. エキストラ価格は表A7-2により区分し、物価資料の掲載価格による。	ハ. エキストラ価格は表A7-2により区分し、物価資料の掲載価格による。
ニ. スクラップ単価は、物価資料の掲載価格のうち規格「鉄屑 ヘビー H2」とする。	ニ. スクラップ単価は、物価資料の掲載価格のうち規格「鉄屑 ヘビー H2」とする。
なお、鋼材屑等のスクラップ数量は、所要数量から設計数量を差し引いた数量の70%とする。	なお、鋼材屑等のスクラップ数量は、所要数量から設計数量を差し引いた数量の70%とする。
(2) 工場加工組立	(2) 工場加工組立
軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格によることができる。	軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格によることができる。
(3) 揚重機械器具	(3) 揚重機械器具
イ. 第1項により、共通仮設費に計上する。	イ. 第1項により、共通仮設費に計上する。
ロ. 機種選定は作業エリアからの最大作業半径と吊上荷重（最上階の1ピース最大質量）により決定する。	ロ. 機種選定は作業エリアからの最大作業半径と吊上荷重（最上階の1ピース最大質量）により決定する。
(4) 工場塗装	(4) 工場塗装
専門工事業者の見積価格等を参考にする。ただし、これによりがたい場合は第4編第1章3による。	専門工事業者の見積価格等を参考にする。ただし、これによりがたい場合は第4編第1章3による。
(5) 現場建方	(5) 現場建方
軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格等によることができる。	軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格等によることができる。
(6) 高力ボルト・普通ボルト類	(6) 高力ボルト・普通ボルト類
締め付け費は、軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格等によることができる。	締め付け費は、軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格等によることができる。

改 定 後	改 定 前																																																																						
<div>(7) 現場溶接</div> <div>イ. 軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格等によることができる。</div> <div>ロ. 参考歩掛り 表 RA-7-4 現場溶接の溶接器具は、半自動アーク溶接機 定格電流 500A を標準とし、機械損料 1.50 とする。</div> <div>表 A7 - 1</div> <table><tr><th colspan="4">ベース価格区分表</th></tr><tr><th>鋼材種別</th><th>適用条件</th><th>市中価格</th><th>製造業者の 直接販売価格</th></tr><tr><td>H形鋼</td><td rowspan="4">数量にかかわらず</td><td rowspan="2">SS400規格品</td><td rowspan="2">左記以外の規格品</td></tr><tr><td>溝形鋼</td></tr><tr><td>I 形鋼</td><td rowspan="2">—</td><td rowspan="2">全ての規格品</td></tr><tr><td>等辺山形鋼</td></tr><tr><td>外法H形鋼</td><td rowspan="4">数量にかかわらず</td><td>全ての規格品</td><td rowspan="4">—</td></tr><tr><td>不等辺山形鋼</td><td colspan="2" rowspan="2">SSC400相当品</td></tr><tr><td>平鋼</td></tr><tr><td>軽量形鋼</td><td>SSC400相当品</td></tr><tr><td>鋼板（切板）</td><td>数量にかかわらず</td><td>SS400規格品</td><td>左記以外の規格品</td></tr><tr><td>一般構造用炭素鋼鋼管</td><td>—</td><td>STK400の規格品</td><td>左記以外の規格品</td></tr></table>	ベース価格区分表				鋼材種別	適用条件	市中価格	製造業者の 直接販売価格	H形鋼	数量にかかわらず	SS400規格品	左記以外の規格品	溝形鋼	I 形鋼	—	全ての規格品	等辺山形鋼	外法H形鋼	数量にかかわらず	全ての規格品	—	不等辺山形鋼	SSC400相当品		平鋼	軽量形鋼	SSC400相当品	鋼板（切板）	数量にかかわらず	SS400規格品	左記以外の規格品	一般構造用炭素鋼鋼管	—	STK400の規格品	左記以外の規格品	<div>(7) 現場溶接</div> <div>イ. 軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格等によることができる。</div> <div>ロ. 参考歩掛り 表 RA-7-4 現場溶接の溶接器具は、半自動アーク溶接機 定格電流 500A を標準とし、機械損料 1.50 とする。</div> <div>表 A7 - 1</div> <table><tr><th colspan="4">ベース価格区分表</th></tr><tr><th>鋼材種別</th><th>適用条件</th><th>市中価格</th><th>実勢販売価格</th></tr><tr><td>H形鋼</td><td rowspan="4">数量にかかわらず</td><td rowspan="2">SS400規格品</td><td rowspan="2">左記以外の規格品</td></tr><tr><td>溝形鋼</td></tr><tr><td>I 形鋼</td><td rowspan="2">—</td><td rowspan="2">全ての規格品</td></tr><tr><td>等辺山形鋼</td></tr><tr><td>外法H形鋼</td><td rowspan="4">数量にかかわらず</td><td>全ての規格品</td><td rowspan="4">—</td></tr><tr><td>不等辺山形鋼</td><td colspan="2" rowspan="2">SSC400相当品</td></tr><tr><td>平鋼</td></tr><tr><td>軽量形鋼</td><td>SSC400相当品</td></tr><tr><td>鋼板（切板）</td><td>数量にかかわらず</td><td>SS400規格品</td><td>左記以外の規格品</td></tr><tr><td>一般構造用炭素鋼鋼管</td><td>—</td><td>STK400の規格品</td><td>左記以外の規格品</td></tr></table>	ベース価格区分表				鋼材種別	適用条件	市中価格	実勢販売価格	H形鋼	数量にかかわらず	SS400規格品	左記以外の規格品	溝形鋼	I 形鋼	—	全ての規格品	等辺山形鋼	外法H形鋼	数量にかかわらず	全ての規格品	—	不等辺山形鋼	SSC400相当品		平鋼	軽量形鋼	SSC400相当品	鋼板（切板）	数量にかかわらず	SS400規格品	左記以外の規格品	一般構造用炭素鋼鋼管	—	STK400の規格品	左記以外の規格品
ベース価格区分表																																																																							
鋼材種別	適用条件	市中価格	製造業者の 直接販売価格																																																																				
H形鋼	数量にかかわらず	SS400規格品	左記以外の規格品																																																																				
溝形鋼																																																																							
I 形鋼		—	全ての規格品																																																																				
等辺山形鋼																																																																							
外法H形鋼	数量にかかわらず	全ての規格品	—																																																																				
不等辺山形鋼		SSC400相当品																																																																					
平鋼																																																																							
軽量形鋼		SSC400相当品																																																																					
鋼板（切板）	数量にかかわらず	SS400規格品	左記以外の規格品																																																																				
一般構造用炭素鋼鋼管	—	STK400の規格品	左記以外の規格品																																																																				
ベース価格区分表																																																																							
鋼材種別	適用条件	市中価格	実勢販売価格																																																																				
H形鋼	数量にかかわらず	SS400規格品	左記以外の規格品																																																																				
溝形鋼																																																																							
I 形鋼		—	全ての規格品																																																																				
等辺山形鋼																																																																							
外法H形鋼	数量にかかわらず	全ての規格品	—																																																																				
不等辺山形鋼		SSC400相当品																																																																					
平鋼																																																																							
軽量形鋼		SSC400相当品																																																																					
鋼板（切板）	数量にかかわらず	SS400規格品	左記以外の規格品																																																																				
一般構造用炭素鋼鋼管	—	STK400の規格品	左記以外の規格品																																																																				



改 定 後	改 定 前																												
<div>表 A7 - 2</div> <table><tr><th colspan="2">エキストラ価格区分表</th></tr><tr><th>鋼材種別</th><th>対象エキストラ</th></tr><tr><td>H形鋼 外法H形鋼</td><td>1.規格エキストラ 2.寸法エキストラ（長さ・サイズ・極厚） 3.加工エキストラ（C T形鋼・ショット）</td></tr><tr><td>「削除」</td><td></td></tr><tr><td>溝形鋼 <u>I 形鋼</u></td><td>1.規格エキストラ 2.寸法エキストラ</td></tr><tr><td>等辺山形鋼</td><td>1.規格エキストラ</td></tr><tr><td><u>一般構造用炭素鋼鋼管</u></td><td><u>1.規格エキストラ</u> <u>2.外径エキストラ</u> <u>3.寸法エキストラ</u></td></tr><tr><td><u>鋼板（切板）</u></td><td><u>1.規格エキストラ</u> <u>2.板厚エキストラ</u> <u>3.単質別、形状別エキストラ</u> <u>4.切断エキストラ</u> <u>5.孔あけ加工エキストラ</u> <u>6.面取り加工エキストラ</u> <u>7.開先加工エキストラ</u> <u>8.マーキングエキストラ</u> <u>9.スニップ・スカラップエキストラ</u> <u>10.材料検査エキストラ</u></td></tr></table>	エキストラ価格区分表		鋼材種別	対象エキストラ	H形鋼 外法H形鋼	1.規格エキストラ 2.寸法エキストラ（長さ・サイズ・極厚） 3.加工エキストラ（C T形鋼・ショット）	「削除」		溝形鋼 <u>I 形鋼</u>	1.規格エキストラ 2.寸法エキストラ	等辺山形鋼	1.規格エキストラ	<u>一般構造用炭素鋼鋼管</u>	<u>1.規格エキストラ</u> <u>2.外径エキストラ</u> <u>3.寸法エキストラ</u>	<u>鋼板（切板）</u>	<u>1.規格エキストラ</u> <u>2.板厚エキストラ</u> <u>3.単質別、形状別エキストラ</u> <u>4.切断エキストラ</u> <u>5.孔あけ加工エキストラ</u> <u>6.面取り加工エキストラ</u> <u>7.開先加工エキストラ</u> <u>8.マーキングエキストラ</u> <u>9.スニップ・スカラップエキストラ</u> <u>10.材料検査エキストラ</u>	<div>表 A7 - 2</div> <table><tr><th colspan="2">エキストラ価格区分表</th></tr><tr><th>鋼材種別</th><th>対象エキストラ</th></tr><tr><td>H形鋼 外法H形鋼</td><td>1.規格エキストラ 2.寸法エキストラ（長さ・サイズ・極厚） 3.加工エキストラ（C T形鋼・ショット）</td></tr><tr><td><u>鋼板</u></td><td><u>1.規格エキストラ</u> <u>2.寸法エキストラ（幅・長さ・厚み）</u> <u>3.輸送エキストラ</u> <u>4.特別仕様エキストラ</u></td></tr><tr><td>溝形鋼</td><td>1.規格エキストラ 2.寸法エキストラ</td></tr><tr><td>等辺山形鋼 <u>鋼板（切板）</u></td><td>1.規格エキストラ</td></tr></table>	エキストラ価格区分表		鋼材種別	対象エキストラ	H形鋼 外法H形鋼	1.規格エキストラ 2.寸法エキストラ（長さ・サイズ・極厚） 3.加工エキストラ（C T形鋼・ショット）	<u>鋼板</u>	<u>1.規格エキストラ</u> <u>2.寸法エキストラ（幅・長さ・厚み）</u> <u>3.輸送エキストラ</u> <u>4.特別仕様エキストラ</u>	溝形鋼	1.規格エキストラ 2.寸法エキストラ	等辺山形鋼 <u>鋼板（切板）</u>	1.規格エキストラ
エキストラ価格区分表																													
鋼材種別	対象エキストラ																												
H形鋼 外法H形鋼	1.規格エキストラ 2.寸法エキストラ（長さ・サイズ・極厚） 3.加工エキストラ（C T形鋼・ショット）																												
「削除」																													
溝形鋼 <u>I 形鋼</u>	1.規格エキストラ 2.寸法エキストラ																												
等辺山形鋼	1.規格エキストラ																												
<u>一般構造用炭素鋼鋼管</u>	<u>1.規格エキストラ</u> <u>2.外径エキストラ</u> <u>3.寸法エキストラ</u>																												
<u>鋼板（切板）</u>	<u>1.規格エキストラ</u> <u>2.板厚エキストラ</u> <u>3.単質別、形状別エキストラ</u> <u>4.切断エキストラ</u> <u>5.孔あけ加工エキストラ</u> <u>6.面取り加工エキストラ</u> <u>7.開先加工エキストラ</u> <u>8.マーキングエキストラ</u> <u>9.スニップ・スカラップエキストラ</u> <u>10.材料検査エキストラ</u>																												
エキストラ価格区分表																													
鋼材種別	対象エキストラ																												
H形鋼 外法H形鋼	1.規格エキストラ 2.寸法エキストラ（長さ・サイズ・極厚） 3.加工エキストラ（C T形鋼・ショット）																												
<u>鋼板</u>	<u>1.規格エキストラ</u> <u>2.寸法エキストラ（幅・長さ・厚み）</u> <u>3.輸送エキストラ</u> <u>4.特別仕様エキストラ</u>																												
溝形鋼	1.規格エキストラ 2.寸法エキストラ																												
等辺山形鋼 <u>鋼板（切板）</u>	1.規格エキストラ																												

改 定 後	改 定 前																																																																																																
<div>第 8 項 耐震改修</div> <div>1 一般事項</div> <div>細目工種は、表 A 2 1－1 及び表 A 2 1－2 による。</div> <div>2 単価、価格等</div> <div>(1) 鉄筋工事<div>第 4 編第 2 章第 1 節第 4 項による。ただし、鉄筋加工組立の細目工種は、耐震改修で使用する場合に標準的な鉄筋と構成比が異なるため本項による。 <u>なお、鉄筋運搬用トラックの規格は 4 t 車を標準とする。</u></div></div> <div>(2) コンクリート工事<div>第 4 編第 2 章第 1 節第 5 項による。</div></div> <div>(3) 型枠工事<div>イ．型枠の細目工種は、耐震改修で使用する場合に標準的な型枠と構成比が異なるため本項による。 ロ．型枠運搬の細目工種は、第 4 編第 2 章第 1 節第 6 項による。</div></div> <div>(4) 鉄骨工事<div>第 4 編第 2 章第 1 節第 7 項による。</div></div> <div>表 A 21－1 補正<u>単位施工単価</u><table><tr><th>細 目</th><th>摘 要</th><th>単位</th><th>備 考</th></tr><tr><td>鉄筋加工組立</td><td>耐震改修用</td><td>t</td><td></td></tr></table><div>表 A 21－2 補正<u>単位施工単価</u><table><tr><th>細 目</th><th>摘 要</th><th>単位</th><th>備 考</th></tr><tr><td>普通合板型枠</td><td>壁式構造 基礎部</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>普通合板型枠</td><td>耐震改修用 地下軸部</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>普通合板型枠</td><td>耐震改修用 地上軸部</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>耐震改修用 地下軸部 A種</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>耐震改修用 地下軸部 B種</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>耐震改修用 地下軸部 C種</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>耐震改修用 地上軸部 A種</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>耐震改修用 地上軸部 B種</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>耐震改修用 地上軸部 C種</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr></table></div></div>	細 目	摘 要	単位	備 考	鉄筋加工組立	耐震改修用	t		細 目	摘 要	単位	備 考	普通合板型枠	壁式構造 基礎部	m <sup>2</sup>		普通合板型枠	耐震改修用 地下軸部	m <sup>2</sup>		普通合板型枠	耐震改修用 地上軸部	m <sup>2</sup>		打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 A種	m <sup>2</sup>		打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 B種	m <sup>2</sup>		打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 C種	m <sup>2</sup>		打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 A種	m <sup>2</sup>		打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 B種	m <sup>2</sup>		打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 C種	m <sup>2</sup>		<div>第 8 項 耐震改修</div> <div>1 一般事項</div> <div>細目工種は、表 A 2 1－1 及び表 A 2 1－2 による。</div> <div>2 単価、価格等</div> <div>(1) 鉄筋工事<div>第 4 編第 2 章第 1 節第 4 項による。ただし、鉄筋加工組立の細目工種は、耐震改修で使用する場合に標準的な鉄筋と構成比が異なるため本項による。</div></div> <div>(2) コンクリート工事<div>第 4 編第 2 章第 1 節第 5 項による。</div></div> <div>(3) 型枠工事<div>イ．型枠の細目工種は、耐震改修で使用する場合に標準的な型枠と構成比が異なるため本項による。 ロ．型枠運搬の細目工種は、第 4 編第 2 章第 1 節第 6 項による。</div></div> <div>(4) 鉄骨工事<div>第 4 編第 2 章第 1 節第 7 項による。</div></div> <div>表 A 21－1 補正<u>市場単価</u><table><tr><th>細 目</th><th>摘 要</th><th>単位</th><th>備 考</th></tr><tr><td>鉄筋加工組立</td><td>耐震改修用</td><td>t</td><td></td></tr></table><div>表 A 21－2 補正<u>市場単価</u><table><tr><th>細 目</th><th>摘 要</th><th>単位</th><th>備 考</th></tr><tr><td>普通合板型枠</td><td>壁式構造 基礎部</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>普通合板型枠</td><td>耐震改修用 地下軸部</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>普通合板型枠</td><td>耐震改修用 地上軸部</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>耐震改修用 地下軸部 A種</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>耐震改修用 地下軸部 B種</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>耐震改修用 地下軸部 C種</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>耐震改修用 地上軸部 A種</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>耐震改修用 地上軸部 B種</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>耐震改修用 地上軸部 C種</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr></table></div></div>	細 目	摘 要	単位	備 考	鉄筋加工組立	耐震改修用	t		細 目	摘 要	単位	備 考	普通合板型枠	壁式構造 基礎部	m <sup>2</sup>		普通合板型枠	耐震改修用 地下軸部	m <sup>2</sup>		普通合板型枠	耐震改修用 地上軸部	m <sup>2</sup>		打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 A種	m <sup>2</sup>		打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 B種	m <sup>2</sup>		打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 C種	m <sup>2</sup>		打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 A種	m <sup>2</sup>		打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 B種	m <sup>2</sup>		打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 C種	m <sup>2</sup>	
細 目	摘 要	単位	備 考																																																																																														
鉄筋加工組立	耐震改修用	t																																																																																															
細 目	摘 要	単位	備 考																																																																																														
普通合板型枠	壁式構造 基礎部	m <sup>2</sup>																																																																																															
普通合板型枠	耐震改修用 地下軸部	m <sup>2</sup>																																																																																															
普通合板型枠	耐震改修用 地上軸部	m <sup>2</sup>																																																																																															
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 A種	m <sup>2</sup>																																																																																															
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 B種	m <sup>2</sup>																																																																																															
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 C種	m <sup>2</sup>																																																																																															
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 A種	m <sup>2</sup>																																																																																															
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 B種	m <sup>2</sup>																																																																																															
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 C種	m <sup>2</sup>																																																																																															
細 目	摘 要	単位	備 考																																																																																														
鉄筋加工組立	耐震改修用	t																																																																																															
細 目	摘 要	単位	備 考																																																																																														
普通合板型枠	壁式構造 基礎部	m <sup>2</sup>																																																																																															
普通合板型枠	耐震改修用 地下軸部	m <sup>2</sup>																																																																																															
普通合板型枠	耐震改修用 地上軸部	m <sup>2</sup>																																																																																															
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 A種	m <sup>2</sup>																																																																																															
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 B種	m <sup>2</sup>																																																																																															
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 C種	m <sup>2</sup>																																																																																															
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 A種	m <sup>2</sup>																																																																																															
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 B種	m <sup>2</sup>																																																																																															
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 C種	m <sup>2</sup>																																																																																															

改 定 後	改 定 前																																								
附表 1 補正市場単価算出方法	附表 補正市場単価算出方法																																								
補正市場単価算出上の留意点	補正市場単価作成上の留意点																																								
歩掛りによって、補正市場単価を作成する場合は、以下の点に留意する。	歩掛りによって、補正市場単価を作成する場合は、以下の点に留意する。																																								
1. 材料単価および価格	1. 材料単価および価格																																								
市場単価の採用都市と同じ採用都市の材料単価及び価格を使用する。ただし、採用都市において材料単価及び価格の掲載がない場合は、複合単価作成時の材料単価及び価格採用の方法によるものとする。	市場単価の採用都市と同じ採用都市の材料単価及び価格を使用する。ただし、採用都市において材料単価及び価格の掲載がない場合は、複合単価作成時の材料単価及び価格採用の方法によるものとする。																																								
2. 労務単価	2. 労務単価																																								
市場単価の採用都市が存在する都道府県の労務単価を使用する。ただし、市場単価の採用都市が存在する都道府県の労務単価の掲載がない場合は、複合単価作成時の労務単価採用の方法によるものとする。	市場単価の採用都市が存在する都道府県の労務単価を使用する。ただし、市場単価の採用都市が存在する都道府県の労務単価の掲載がない場合は、複合単価作成時の労務単価採用の方法によるものとする。																																								
	【鉄筋】																																								
	**市場単価**																																								
	<table><tr><th>細 目</th><th>摘 要</th><th>単位</th><th>単価記号</th><th>備 考</th></tr><tr><td>鉄筋加工組立</td><td>RC造 構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純</td><td>t</td><td>A</td><td></td></tr><tr><td>(以下略)</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	細 目	摘 要	単位	単価記号	備 考	鉄筋加工組立	RC造 構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純	t	A		(以下略)																													
細 目	摘 要	単位	単価記号	備 考																																					
鉄筋加工組立	RC造 構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純	t	A																																						
(以下略)																																									
	**参考歩掛り**																																								
	<table><tr><th>細 目</th><th>摘 要</th><th>単位</th><th>単価記号</th><th>表番号</th></tr><tr><td>鉄筋工場加工</td><td>一般 太物</td><td>t</td><td>a</td><td>表RA-4-1</td></tr><tr><td>鉄筋工場加工</td><td>一般 細物</td><td>t</td><td>b</td><td>表RA-4-1</td></tr><tr><td>鉄筋組立</td><td>RC造 太物 (圧接)</td><td>t</td><td>c</td><td>表RA-4-3</td></tr><tr><td>鉄筋組立</td><td>RC造 細物</td><td>t</td><td>d</td><td>表RA-4-3</td></tr><tr><td>鉄筋加工組立</td><td>S造 スラブ 鉄筋加工 工場</td><td>t</td><td>e</td><td>表RA-4-6</td></tr><tr><td>鉄筋加工組立</td><td>S造 鉄筋組立て</td><td>t</td><td>f</td><td>表RA-4-6</td></tr><tr><td>鉄筋加工組立</td><td>小型構造物</td><td>t</td><td>g</td><td>表RA-4-9</td></tr></table>	細 目	摘 要	単位	単価記号	表番号	鉄筋工場加工	一般 太物	t	a	表RA-4-1	鉄筋工場加工	一般 細物	t	b	表RA-4-1	鉄筋組立	RC造 太物 (圧接)	t	c	表RA-4-3	鉄筋組立	RC造 細物	t	d	表RA-4-3	鉄筋加工組立	S造 スラブ 鉄筋加工 工場	t	e	表RA-4-6	鉄筋加工組立	S造 鉄筋組立て	t	f	表RA-4-6	鉄筋加工組立	小型構造物	t	g	表RA-4-9
細 目	摘 要	単位	単価記号	表番号																																					
鉄筋工場加工	一般 太物	t	a	表RA-4-1																																					
鉄筋工場加工	一般 細物	t	b	表RA-4-1																																					
鉄筋組立	RC造 太物 (圧接)	t	c	表RA-4-3																																					
鉄筋組立	RC造 細物	t	d	表RA-4-3																																					
鉄筋加工組立	S造 スラブ 鉄筋加工 工場	t	e	表RA-4-6																																					
鉄筋加工組立	S造 鉄筋組立て	t	f	表RA-4-6																																					
鉄筋加工組立	小型構造物	t	g	表RA-4-9																																					

改 定 後	改 定 前																																																																																															
	<div>＊ ＊ 補正市場単価 ＊ ＊</div> <table><tr><th><u>細 目</u></th><th><u>摘 要</u></th><th><u>単位</u></th><th><u>市場単価</u></th><th><u>算定式</u></th></tr><tr><td><u>鉄筋加工組立</u></td><td><u>S造 床版</u></td><td><u>t</u></td><td><u>A</u></td><td><u>(e+f)÷((0.4(a+c)+0.6(b+d))</u></td></tr><tr><td><u>鉄筋加工組立</u></td><td><u>小型構造物</u></td><td><u>t</u></td><td><u>A</u></td><td><u>g÷((0.4(a+c)+0.6(b+d))</u></td></tr></table> <div>【耐震改修】</div> <div>＊ ＊ 市場単価 ＊ ＊</div> <table><tr><th><u>細 目</u></th><th><u>摘 要</u></th><th><u>単位</u></th><th><u>単価記号</u></th><th><u>備 考</u></th></tr><tr><td><u>鉄筋加工組立</u></td><td><u>RCパネル構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純</u></td><td><u>t</u></td><td><u>A</u></td><td></td></tr></table> <div>＊ ＊ 補正市場単価 ＊ ＊</div> <table><tr><th><u>細 目</u></th><th><u>摘 要</u></th><th><u>単位</u></th><th><u>単価記号</u></th><th><u>補正率</u></th></tr><tr><td><u>鉄筋加工組立</u></td><td><u>耐震改修用</u></td><td><u>t</u></td><td><u>A</u></td><td><u>1.55</u></td></tr></table> <div>【型枠】</div> <div>＊ ＊ 市場単価 ＊ ＊</div> <table><tr><th><u>細 目</u></th><th><u>摘 要</u></th><th><u>単位</u></th><th><u>単価記号</u></th><th><u>備 考</u></th></tr><tr><td><u>普通合板型枠</u></td><td><u>基礎部</u></td><td><u>m<sup>2</sup></u></td><td><u>A</u></td><td></td></tr><tr><td><u>普通合板型枠</u></td><td><u>地下軸部 階高5.0m程度</u></td><td><u>m<sup>2</sup></u></td><td><u>B</u></td><td></td></tr><tr><td><u>普通合板型枠</u></td><td><u>ラーメン構造 地上軸部 階高2.8m程度</u></td><td><u>m<sup>2</sup></u></td><td><u>C</u></td><td></td></tr><tr><td><u>普通合板型枠</u></td><td><u>ラーメン構造 地上軸部 階高3.5・4.0m程度</u></td><td><u>m<sup>2</sup></u></td><td><u>D</u></td><td></td></tr><tr><td><u>打放し合板型枠</u></td><td><u>ラーメン構造 地上軸部B種 階高3.5・4.0m程度</u></td><td><u>m<sup>2</sup></u></td><td><u>E</u></td><td></td></tr><tr><td><u>打放し合板型枠</u></td><td><u>ラーメン構造 地上軸部C種 階高3.5・4.0m程度</u></td><td><u>m<sup>2</sup></u></td><td><u>F</u></td><td></td></tr><tr><td><u>普通合板型枠</u></td><td><u>壁式構造 地上軸部 階高2.8m程度</u></td><td><u>m<sup>2</sup></u></td><td><u>G</u></td><td></td></tr><tr><td><u>打放し合板型枠</u></td><td><u>壁式構造 地上軸部B種 階高2.8m程度</u></td><td><u>m<sup>2</sup></u></td><td><u>H</u></td><td></td></tr><tr><td><u>打放し合板型枠</u></td><td><u>壁式構造 地上軸部C種 階高2.8m程度</u></td><td><u>m<sup>2</sup></u></td><td><u>I</u></td><td></td></tr><tr><td><u>型枠運搬費</u></td><td><u>型枠運搬費 4t車 基準距離30km以内</u></td><td><u>m<sup>2</sup></u></td><td><u>J</u></td><td></td></tr><tr><td><u>型枠運搬費</u></td><td><u>型枠運搬費 10t車 基準距離30km以内</u></td><td><u>m<sup>2</sup></u></td><td><u>K</u></td><td></td></tr></table>	<u>細 目</u>	<u>摘 要</u>	<u>単位</u>	<u>市場単価</u>	<u>算定式</u>	<u>鉄筋加工組立</u>	<u>S造 床版</u>	<u>t</u>	<u>A</u>	<u>(e+f)÷((0.4(a+c)+0.6(b+d))</u>	<u>鉄筋加工組立</u>	<u>小型構造物</u>	<u>t</u>	<u>A</u>	<u>g÷((0.4(a+c)+0.6(b+d))</u>	<u>細 目</u>	<u>摘 要</u>	<u>単位</u>	<u>単価記号</u>	<u>備 考</u>	<u>鉄筋加工組立</u>	<u>RCパネル構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純</u>	<u>t</u>	<u>A</u>		<u>細 目</u>	<u>摘 要</u>	<u>単位</u>	<u>単価記号</u>	<u>補正率</u>	<u>鉄筋加工組立</u>	<u>耐震改修用</u>	<u>t</u>	<u>A</u>	<u>1.55</u>	<u>細 目</u>	<u>摘 要</u>	<u>単位</u>	<u>単価記号</u>	<u>備 考</u>	<u>普通合板型枠</u>	<u>基礎部</u>	<u>m<sup>2</sup></u>	<u>A</u>		<u>普通合板型枠</u>	<u>地下軸部 階高5.0m程度</u>	<u>m<sup>2</sup></u>	<u>B</u>		<u>普通合板型枠</u>	<u>ラーメン構造 地上軸部 階高2.8m程度</u>	<u>m<sup>2</sup></u>	<u>C</u>		<u>普通合板型枠</u>	<u>ラーメン構造 地上軸部 階高3.5・4.0m程度</u>	<u>m<sup>2</sup></u>	<u>D</u>		<u>打放し合板型枠</u>	<u>ラーメン構造 地上軸部B種 階高3.5・4.0m程度</u>	<u>m<sup>2</sup></u>	<u>E</u>		<u>打放し合板型枠</u>	<u>ラーメン構造 地上軸部C種 階高3.5・4.0m程度</u>	<u>m<sup>2</sup></u>	<u>F</u>		<u>普通合板型枠</u>	<u>壁式構造 地上軸部 階高2.8m程度</u>	<u>m<sup>2</sup></u>	<u>G</u>		<u>打放し合板型枠</u>	<u>壁式構造 地上軸部B種 階高2.8m程度</u>	<u>m<sup>2</sup></u>	<u>H</u>		<u>打放し合板型枠</u>	<u>壁式構造 地上軸部C種 階高2.8m程度</u>	<u>m<sup>2</sup></u>	<u>I</u>		<u>型枠運搬費</u>	<u>型枠運搬費 4t車 基準距離30km以内</u>	<u>m<sup>2</sup></u>	<u>J</u>		<u>型枠運搬費</u>	<u>型枠運搬費 10t車 基準距離30km以内</u>	<u>m<sup>2</sup></u>	<u>K</u>	
<u>細 目</u>	<u>摘 要</u>	<u>単位</u>	<u>市場単価</u>	<u>算定式</u>																																																																																												
<u>鉄筋加工組立</u>	<u>S造 床版</u>	<u>t</u>	<u>A</u>	<u>(e+f)÷((0.4(a+c)+0.6(b+d))</u>																																																																																												
<u>鉄筋加工組立</u>	<u>小型構造物</u>	<u>t</u>	<u>A</u>	<u>g÷((0.4(a+c)+0.6(b+d))</u>																																																																																												
<u>細 目</u>	<u>摘 要</u>	<u>単位</u>	<u>単価記号</u>	<u>備 考</u>																																																																																												
<u>鉄筋加工組立</u>	<u>RCパネル構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純</u>	<u>t</u>	<u>A</u>																																																																																													
<u>細 目</u>	<u>摘 要</u>	<u>単位</u>	<u>単価記号</u>	<u>補正率</u>																																																																																												
<u>鉄筋加工組立</u>	<u>耐震改修用</u>	<u>t</u>	<u>A</u>	<u>1.55</u>																																																																																												
<u>細 目</u>	<u>摘 要</u>	<u>単位</u>	<u>単価記号</u>	<u>備 考</u>																																																																																												
<u>普通合板型枠</u>	<u>基礎部</u>	<u>m<sup>2</sup></u>	<u>A</u>																																																																																													
<u>普通合板型枠</u>	<u>地下軸部 階高5.0m程度</u>	<u>m<sup>2</sup></u>	<u>B</u>																																																																																													
<u>普通合板型枠</u>	<u>ラーメン構造 地上軸部 階高2.8m程度</u>	<u>m<sup>2</sup></u>	<u>C</u>																																																																																													
<u>普通合板型枠</u>	<u>ラーメン構造 地上軸部 階高3.5・4.0m程度</u>	<u>m<sup>2</sup></u>	<u>D</u>																																																																																													
<u>打放し合板型枠</u>	<u>ラーメン構造 地上軸部B種 階高3.5・4.0m程度</u>	<u>m<sup>2</sup></u>	<u>E</u>																																																																																													
<u>打放し合板型枠</u>	<u>ラーメン構造 地上軸部C種 階高3.5・4.0m程度</u>	<u>m<sup>2</sup></u>	<u>F</u>																																																																																													
<u>普通合板型枠</u>	<u>壁式構造 地上軸部 階高2.8m程度</u>	<u>m<sup>2</sup></u>	<u>G</u>																																																																																													
<u>打放し合板型枠</u>	<u>壁式構造 地上軸部B種 階高2.8m程度</u>	<u>m<sup>2</sup></u>	<u>H</u>																																																																																													
<u>打放し合板型枠</u>	<u>壁式構造 地上軸部C種 階高2.8m程度</u>	<u>m<sup>2</sup></u>	<u>I</u>																																																																																													
<u>型枠運搬費</u>	<u>型枠運搬費 4t車 基準距離30km以内</u>	<u>m<sup>2</sup></u>	<u>J</u>																																																																																													
<u>型枠運搬費</u>	<u>型枠運搬費 10t車 基準距離30km以内</u>	<u>m<sup>2</sup></u>	<u>K</u>																																																																																													

改 定 後	改 定 前																																																																																																																			
	<div>***参考歩掛り***</div> <table><tr><th>細 目</th><th>摘 要</th><th>単位</th><th>単価記号</th><th>表番号</th></tr><tr><td>普通合板型枠</td><td>鉄筋コンクリート造建物(壁式)</td><td>m<sup>2</sup></td><td>a</td><td>表RA-6-1</td></tr><tr><td>普通合板型枠</td><td>小型構造物</td><td>m<sup>2</sup></td><td>h</td><td>表RA-6-1</td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>A種 鉄筋コンクリート造(一般ラーメン)</td><td>m<sup>2</sup></td><td>m</td><td>表RA-6-2</td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>B種 鉄筋コンクリート造(一般ラーメン)</td><td>m<sup>2</sup></td><td>b</td><td>表RA-6-2</td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>B種 鉄筋コンクリート造(壁式)</td><td>m<sup>2</sup></td><td>e</td><td>表RA-6-2</td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>C種 鉄筋コンクリート造(一般ラーメン)</td><td>m<sup>2</sup></td><td>c</td><td>表RA-6-2</td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>C種 鉄筋コンクリート造(壁式)</td><td>m<sup>2</sup></td><td>f</td><td>表RA-6-2</td></tr></table> <div>***補正市場単価***</div> <table><tr><th>細 目</th><th>摘 要</th><th>単位</th><th>市場単価</th><th>算定式</th></tr><tr><td>普通合板型枠</td><td>壁式構造 基礎部</td><td>m<sup>2</sup></td><td>A</td><td>1</td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>ラーメン構造・壁式構造 基礎部 B種</td><td>m<sup>2</sup></td><td>A</td><td>E÷D</td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>ラーメン構造・壁式構造 基礎部 C種</td><td>m<sup>2</sup></td><td>A</td><td>F÷D</td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>ラーメン構造 地下軸部A種 階高5.0m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td>B</td><td>(E×m÷b)÷D</td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>ラーメン構造 地下軸部 B種 階高 5.0m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td>B</td><td>E÷D</td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>ラーメン構造 地下軸部 C種 階高 5.0m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td>B</td><td>F÷D</td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>ラーメン構造 地上軸部A種 階高3.5-4.0m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td>E</td><td>m÷b</td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>壁式構造 地上軸部A種 階高2.8m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td>H</td><td>m÷b</td></tr><tr><td>小型構造物型枠</td><td>擁壁、囲障の基礎等</td><td>m<sup>2</sup></td><td>A</td><td>h÷a</td></tr></table> <div>【型枠（耐震改修）】</div> <div>***市場単価***</div> <table><tr><th>細 目</th><th>摘 要</th><th>単位</th><th>単価記号</th><th>備 考</th></tr><tr><td>普通合板型枠</td><td>地下軸部 階高5.0m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td>B</td><td></td></tr><tr><td>普通合板型枠</td><td>ラーメン構造 地上軸部 階高3.5-4.0m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td>D</td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>ラーメン構造 地上軸部B種 階高3.5-4.0m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td>E</td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>ラーメン構造 地上軸部C種 階高3.5-4.0m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td>F</td><td></td></tr></table>	細 目	摘 要	単位	単価記号	表番号	普通合板型枠	鉄筋コンクリート造建物(壁式)	m <sup>2</sup>	a	表RA-6-1	普通合板型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	h	表RA-6-1	打放し合板型枠	A種 鉄筋コンクリート造(一般ラーメン)	m <sup>2</sup>	m	表RA-6-2	打放し合板型枠	B種 鉄筋コンクリート造(一般ラーメン)	m <sup>2</sup>	b	表RA-6-2	打放し合板型枠	B種 鉄筋コンクリート造(壁式)	m <sup>2</sup>	e	表RA-6-2	打放し合板型枠	C種 鉄筋コンクリート造(一般ラーメン)	m <sup>2</sup>	c	表RA-6-2	打放し合板型枠	C種 鉄筋コンクリート造(壁式)	m <sup>2</sup>	f	表RA-6-2	細 目	摘 要	単位	市場単価	算定式	普通合板型枠	壁式構造 基礎部	m <sup>2</sup>	A	1	打放し合板型枠	ラーメン構造・壁式構造 基礎部 B種	m <sup>2</sup>	A	E÷D	打放し合板型枠	ラーメン構造・壁式構造 基礎部 C種	m <sup>2</sup>	A	F÷D	打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部A種 階高5.0m程度	m <sup>2</sup>	B	(E×m÷b)÷D	打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部 B種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>	B	E÷D	打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部 C種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>	B	F÷D	打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部A種 階高3.5-4.0m程度	m <sup>2</sup>	E	m÷b	打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部A種 階高2.8m程度	m <sup>2</sup>	H	m÷b	小型構造物型枠	擁壁、囲障の基礎等	m <sup>2</sup>	A	h÷a	細 目	摘 要	単位	単価記号	備 考	普通合板型枠	地下軸部 階高5.0m程度	m <sup>2</sup>	B		普通合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 階高3.5-4.0m程度	m <sup>2</sup>	D		打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部B種 階高3.5-4.0m程度	m <sup>2</sup>	E		打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部C種 階高3.5-4.0m程度	m <sup>2</sup>	F	
細 目	摘 要	単位	単価記号	表番号																																																																																																																
普通合板型枠	鉄筋コンクリート造建物(壁式)	m <sup>2</sup>	a	表RA-6-1																																																																																																																
普通合板型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	h	表RA-6-1																																																																																																																
打放し合板型枠	A種 鉄筋コンクリート造(一般ラーメン)	m <sup>2</sup>	m	表RA-6-2																																																																																																																
打放し合板型枠	B種 鉄筋コンクリート造(一般ラーメン)	m <sup>2</sup>	b	表RA-6-2																																																																																																																
打放し合板型枠	B種 鉄筋コンクリート造(壁式)	m <sup>2</sup>	e	表RA-6-2																																																																																																																
打放し合板型枠	C種 鉄筋コンクリート造(一般ラーメン)	m <sup>2</sup>	c	表RA-6-2																																																																																																																
打放し合板型枠	C種 鉄筋コンクリート造(壁式)	m <sup>2</sup>	f	表RA-6-2																																																																																																																
細 目	摘 要	単位	市場単価	算定式																																																																																																																
普通合板型枠	壁式構造 基礎部	m <sup>2</sup>	A	1																																																																																																																
打放し合板型枠	ラーメン構造・壁式構造 基礎部 B種	m <sup>2</sup>	A	E÷D																																																																																																																
打放し合板型枠	ラーメン構造・壁式構造 基礎部 C種	m <sup>2</sup>	A	F÷D																																																																																																																
打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部A種 階高5.0m程度	m <sup>2</sup>	B	(E×m÷b)÷D																																																																																																																
打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部 B種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>	B	E÷D																																																																																																																
打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部 C種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>	B	F÷D																																																																																																																
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部A種 階高3.5-4.0m程度	m <sup>2</sup>	E	m÷b																																																																																																																
打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部A種 階高2.8m程度	m <sup>2</sup>	H	m÷b																																																																																																																
小型構造物型枠	擁壁、囲障の基礎等	m <sup>2</sup>	A	h÷a																																																																																																																
細 目	摘 要	単位	単価記号	備 考																																																																																																																
普通合板型枠	地下軸部 階高5.0m程度	m <sup>2</sup>	B																																																																																																																	
普通合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 階高3.5-4.0m程度	m <sup>2</sup>	D																																																																																																																	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部B種 階高3.5-4.0m程度	m <sup>2</sup>	E																																																																																																																	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部C種 階高3.5-4.0m程度	m <sup>2</sup>	F																																																																																																																	





改 定 後				改 定 前																																																																																																																					
<div>【型枠】</div> <div>＊＊補正単位施工単価＊＊</div> <table><tr><th>細 目</th><th>摘 要</th><th>単位</th><th colspan="2">補正式</th></tr><tr><td>普通合板型枠</td><td>壁式構造 基礎部</td><td>m<sup>2</sup></td><td colspan="2">A</td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>ラーメン構造・壁式構造 基礎部 B種</td><td>m<sup>2</sup></td><td colspan="2">A×E÷D</td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>ラーメン構造・壁式構造 基礎部 C種</td><td>m<sup>2</sup></td><td colspan="2">A×F÷D</td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>ラーメン構造 地下軸部A種 階高5.0m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td colspan="2">B×(E×1.11)÷D</td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>ラーメン構造 地下軸部 B種 階高 5.0m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td colspan="2">B×E÷D</td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>ラーメン構造 地下軸部 C種 階高 5.0m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td colspan="2">B×F÷D</td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>ラーメン構造 地上軸部A種 階高3.5・4.0m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td colspan="2">E×1.11</td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>壁式構造 地上軸部A種 階高2.8m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td colspan="2">H×1.11</td></tr><tr><td>小型構造物型枠</td><td>擁壁、囲障の基礎等</td><td>m<sup>2</sup></td><td colspan="2">A×1.12</td></tr></table> <div>＊＊上表の補正式の記号は次表による＊＊</div> <table><tr><th>細 目</th><th>摘 要</th><th>単位</th><th>単価記号</th><th>備 考</th></tr><tr><td>普通合板型枠</td><td>基礎部</td><td>m<sup>2</sup></td><td>A</td><td></td></tr><tr><td>普通合板型枠</td><td>地下軸部 階高5.0m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td>B</td><td></td></tr><tr><td>普通合板型枠</td><td>ラーメン構造 地上軸部 階高2.8m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td>C</td><td></td></tr><tr><td>普通合板型枠</td><td>ラーメン構造 地上軸部 階高3.5・4.0m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td>D</td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>ラーメン構造 地上軸部B種 階高3.5・4.0m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td>E</td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>ラーメン構造 地上軸部C種 階高3.5・4.0m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td>F</td><td></td></tr><tr><td>普通合板型枠</td><td>壁式構造 地上軸部 階高2.8m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td>G</td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>壁式構造 地上軸部B種 階高2.8m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td>H</td><td></td></tr><tr><td>打放し合板型枠</td><td>壁式構造 地上軸部C種 階高2.8m程度</td><td>m<sup>2</sup></td><td>I</td><td></td></tr><tr><td>型枠運搬費</td><td>型枠運搬費 4t車 基準距離30km以内</td><td>m<sup>2</sup></td><td>J</td><td></td></tr><tr><td>型枠運搬費</td><td>型枠運搬費 10t車 基準距離30km以内</td><td>m<sup>2</sup></td><td>K</td><td></td></tr></table>								細 目	摘 要	単位	補正式		普通合板型枠	壁式構造 基礎部	m <sup>2</sup>	A		打放し合板型枠	ラーメン構造・壁式構造 基礎部 B種	m <sup>2</sup>	A×E÷D		打放し合板型枠	ラーメン構造・壁式構造 基礎部 C種	m <sup>2</sup>	A×F÷D		打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部A種 階高5.0m程度	m <sup>2</sup>	B×(E×1.11)÷D		打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部 B種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>	B×E÷D		打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部 C種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>	B×F÷D		打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部A種 階高3.5・4.0m程度	m <sup>2</sup>	E×1.11		打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部A種 階高2.8m程度	m <sup>2</sup>	H×1.11		小型構造物型枠	擁壁、囲障の基礎等	m <sup>2</sup>	A×1.12		細 目	摘 要	単位	単価記号	備 考	普通合板型枠	基礎部	m <sup>2</sup>	A		普通合板型枠	地下軸部 階高5.0m程度	m <sup>2</sup>	B		普通合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 階高2.8m程度	m <sup>2</sup>	C		普通合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 階高3.5・4.0m程度	m <sup>2</sup>	D		打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部B種 階高3.5・4.0m程度	m <sup>2</sup>	E		打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部C種 階高3.5・4.0m程度	m <sup>2</sup>	F		普通合板型枠	壁式構造 地上軸部 階高2.8m程度	m <sup>2</sup>	G		打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部B種 階高2.8m程度	m <sup>2</sup>	H		打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部C種 階高2.8m程度	m <sup>2</sup>	I		型枠運搬費	型枠運搬費 4t車 基準距離30km以内	m <sup>2</sup>	J		型枠運搬費	型枠運搬費 10t車 基準距離30km以内	m <sup>2</sup>	K					
細 目	摘 要	単位	補正式																																																																																																																						
普通合板型枠	壁式構造 基礎部	m <sup>2</sup>	A																																																																																																																						
打放し合板型枠	ラーメン構造・壁式構造 基礎部 B種	m <sup>2</sup>	A×E÷D																																																																																																																						
打放し合板型枠	ラーメン構造・壁式構造 基礎部 C種	m <sup>2</sup>	A×F÷D																																																																																																																						
打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部A種 階高5.0m程度	m <sup>2</sup>	B×(E×1.11)÷D																																																																																																																						
打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部 B種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>	B×E÷D																																																																																																																						
打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部 C種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>	B×F÷D																																																																																																																						
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部A種 階高3.5・4.0m程度	m <sup>2</sup>	E×1.11																																																																																																																						
打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部A種 階高2.8m程度	m <sup>2</sup>	H×1.11																																																																																																																						
小型構造物型枠	擁壁、囲障の基礎等	m <sup>2</sup>	A×1.12																																																																																																																						
細 目	摘 要	単位	単価記号	備 考																																																																																																																					
普通合板型枠	基礎部	m <sup>2</sup>	A																																																																																																																						
普通合板型枠	地下軸部 階高5.0m程度	m <sup>2</sup>	B																																																																																																																						
普通合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 階高2.8m程度	m <sup>2</sup>	C																																																																																																																						
普通合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 階高3.5・4.0m程度	m <sup>2</sup>	D																																																																																																																						
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部B種 階高3.5・4.0m程度	m <sup>2</sup>	E																																																																																																																						
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部C種 階高3.5・4.0m程度	m <sup>2</sup>	F																																																																																																																						
普通合板型枠	壁式構造 地上軸部 階高2.8m程度	m <sup>2</sup>	G																																																																																																																						
打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部B種 階高2.8m程度	m <sup>2</sup>	H																																																																																																																						
打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部C種 階高2.8m程度	m <sup>2</sup>	I																																																																																																																						
型枠運搬費	型枠運搬費 4t車 基準距離30km以内	m <sup>2</sup>	J																																																																																																																						
型枠運搬費	型枠運搬費 10t車 基準距離30km以内	m <sup>2</sup>	K																																																																																																																						

改 定 後				改 定 前			
【耐震改修】							
**補正単位施工単価**							
細 目		摘 要		単位	補正式		
普通合板型枠		耐震改修用 地下軸部		m <sup>2</sup>	B×1.15		
普通合板型枠		耐震改修用 地上軸部		m <sup>2</sup>	D×1.15		
打放し合板型枠		耐震改修用 地下軸部 A種		m <sup>2</sup>	B×1.35		
打放し合板型枠		耐震改修用 地下軸部 B種		m <sup>2</sup>	B×1.2		
打放し合板型枠		耐震改修用 地下軸部 C種		m <sup>2</sup>	B×1.2		
打放し合板型枠		耐震改修用 地上軸部 A種		m <sup>2</sup>	E×1.3		
打放し合板型枠		耐震改修用 地上軸部 B種		m <sup>2</sup>	E×1.15		
打放し合板型枠		耐震改修用 地上軸部 C種		m <sup>2</sup>	F×1.15		
**上表の補正式の記号は次表による**							
細 目		摘 要		単位	単価記号	備 考	
普通合板型枠		地下軸部 階高5.0m程度		m <sup>2</sup>	B		
普通合板型枠		ラーメン構造 地上軸部 階高3.5～4.0m程度		m <sup>2</sup>	D		
打放し合板型枠		ラーメン構造 地上軸部B種 階高3.5～4.0m程度		m <sup>2</sup>	E		
打放し合板型枠		ラーメン構造 地上軸部C種 階高3.5～4.0m程度		m <sup>2</sup>	F		
【型枠（耐震改修）】							
**補正単位施工単価**							
細 目		摘 要		単位	補正式		
普通合板型枠		耐震改修用 地下軸部		m <sup>2</sup>	B×1.15		
普通合板型枠		耐震改修用 地上軸部		m <sup>2</sup>	D×1.15		
打放し合板型枠		耐震改修用 地下軸部A種		m <sup>2</sup>	B×1.35		
打放し合板型枠		耐震改修用 地下軸部B種		m <sup>2</sup>	B×1.2		
打放し合板型枠		耐震改修用 地下軸部C種		m <sup>2</sup>	B×1.2		
打放し合板型枠		耐震改修用 地上軸部A種		m <sup>2</sup>	E×1.3		
打放し合板型枠		耐震改修用 地上軸部B種		m <sup>2</sup>	E×1.15		
打放し合板型枠		耐震改修用 地上軸部C種		m <sup>2</sup>	F×1.15		



新旧対照表

改 定 後	改 定 前
<div>第 18 項 排水</div> <div>1 一般事項</div> <div>建物周囲の構内通路、前庭まわり、駐車場、歩道等の排水工事に適用する。</div> <div>2 単価、価格等</div> <div>排水工事</div> <div>イ．縁石及びL形側溝は、参考歩掛り 表R A－2 0－1 及び表R A－2 0－2による。<u>また、歩掛りには土工事及び建設発生土処理（敷き均し）を含む。</u></div> <div>ロ．U形側溝の協議会歩掛りを参考にする場合は、歩掛りに蓋は含まれていないため、別途加算する。<u>また、歩掛りには土工事及び建設発生土処理（敷き均し）を含む。</u></div>	<div>第 18 項 排水</div> <div>1 一般事項</div> <div>建物周囲の構内通路、前庭まわり、駐車場、歩道等の排水工事に適用する。</div> <div>2 単価、価格等</div> <div>排水工事</div> <div>イ．縁石及びL形側溝は、参考歩掛り 表R A－2 0－1 及び表R A－2 0－2による。</div> <div>ロ．U形側溝の協議会歩掛りを参考にする場合は、歩掛りに蓋は含まれていないため、別途加算する。</div>



新旧対照表

建築工事積算基準等資料の改定について		第3章 電気設備工事 第1節 新営工事 第1項 共通工事
改 定 後	改 定 前	
<div>第3章 電気設備工事</div> <div>第1節 新営工事</div> <div>第1項 共通工事</div> <div>1 一般事項</div> <p>補正市場単価は、第4編第1章5により算出し、その算定式は附表E 1～附表E 2 5による。</p> <div>2 単価、価格等</div> <div>（1）配管工事</div> <p>イ．配管工事の細目工種は、単価基準によるほか表E 1―1による。</p> <p>ロ．複合単価、市場単価及び補正市場単価は、作業上の切り無駄、支持材、消耗品、附属品、雑材料、配管等の施工上の迂回等を含む。</p> <p>ハ．ボンディングは電力用の場合に計上し、鋼製電線管、金属製位置ボックス（金属管用露出を除く。）及び金属製可とう電線管（接地線を使用しない場合。）に適用する。</p> <p>ニ．耐震支持など特別な支持を行う場合は、支持材を加算する。</p> <p>ホ．B S形ケーブルラック（立上り配線専用両面形）の所要量は、割増しを行わない。</p> <p>ヘ．1種金属線びの附属品及びボックス類は、別途計上する。</p> <p>ト．金属ダクトのつり金具等の支持材は、別途計上する。</p> <p>チ．電力用プルボックスは、プルボックス用接地端子を計上する。</p> <p>リ．位置ボックスは、代表的なボックスに置換えて計上する。</p> <div>（2）配線工事</div> <p>イ．配線工事の細目工種は、単価基準によるほか表E 1―2による。</p> <p>ロ．複合単価、市場単価及び補正市場単価は、作業上の切り無駄、支持材、消耗品、雑材料、電線等の施工上の迂回等を含む。</p> <p>ハ．金属線びに収容する配線工事の所要量は、各細目工種の管内配線を適用する。</p> <p>ニ．長さ1 m以上の通線を行わない配管には、導入線を計上する。</p> <p>ホ．波付硬質合成樹脂管及び線び類については、導入線を計上しない。</p> <p>ヘ．6 0 0 Vポリエチレンケーブルで、デュプレックス形は2 C、トリプレックス形は3 C、カドラプレックス形は4 Cの所要量を適用する。</p> <p>ト．光ファイバケーブル敷設のためのクロージャー及び成端箱の材料費並びに施工費は、別途計上する。</p> <p>チ．光ファイバケーブル及びL A N用ケーブル（U T P）の端部にコネクタ・プラグユニッ</p>	<div>第3章 電気設備工事</div> <div>第1節 新営工事</div> <div>第1項 共通工事</div> <div>1 一般事項</div> <p>補正市場単価は、第4編第1章5により算出し、その算定式は附表E 1～附表E 3 4による。</p> <div>2 単価、価格等</div> <div>（1）配管工事</div> <p>イ．配管工事の細目工種は、単価基準によるほか表E 1―1による。</p> <p>ロ．複合単価、市場単価及び補正市場単価は、作業上の切り無駄、支持材、消耗品、附属品、雑材料、配管等の施工上の迂回等を含む。</p> <p>ハ．ボンディングは電力用の場合に計上し、鋼製電線管、金属製位置ボックス（金属管用露出を除く。）及び金属製可とう電線管（接地線を使用しない場合。）に適用する。</p> <p>ニ．耐震支持など特別な支持を行う場合は、支持材を加算する。</p> <p>ホ．B S形ケーブルラック（立上り配線専用両面形）の所要量は、割増しを行わない。</p> <p>ヘ．1種金属線びの附属品及びボックス類は、別途計上する。</p> <p>ト．金属ダクトのつり金具等の支持材は、別途計上する。</p> <p>チ．電力用プルボックスは、プルボックス用接地端子を計上する。</p> <p>リ．位置ボックスは、代表的なボックスに置換えて計上する。</p> <div>（2）配線工事</div> <p>イ．配線工事の細目工種は、単価基準によるほか表E 1―2による。</p> <p>ロ．複合単価、市場単価及び補正市場単価は、作業上の切り無駄、支持材、消耗品、雑材料、電線等の施工上の迂回等を含む。</p> <p>ハ．金属線びに収容する配線工事の所要量は、各細目工種の管内配線を適用する。</p> <p>ニ．長さ1 m以上の通線を行わない配管には、導入線を計上する。</p> <p>ホ．波付硬質合成樹脂管及び線び類については、導入線を計上しない。</p> <p>ヘ．6 0 0 Vポリエチレンケーブルで、デュプレックス形は2 C、トリプレックス形は3 C、カドラプレックス形は4 Cの所要量を適用する。</p> <p>ト．光ファイバケーブル敷設のためのクロージャー及び成端箱の材料費並びに施工費は、別途計上する。</p> <p>チ．光ファイバケーブル及びL A N用ケーブル（U T P）の端部にコネクタ・プラグユニッ</p>	

新旧対照表

建築工事積算基準等資料の改定について					第3章 電気設備工事 第1節 新営工事 第1項 共通工事				
改 定 後					改 定 前				
表 E1-1 補正市場単価 【配管工事】					表 E1-1 補正市場単価 【配管工事】				
細 目	摘 要	単位	備考		細 目	摘 要	単位	備考	
ケーブルラック	トレー形 ZT 200～600（1段目及び2段積の2段目）	m			<del>電線管</del>	<del>耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい・埋込配管 16～28、隠ぺい配管 36～82、露出配管 16～82</del>	<del>m</del>		
ケーブルラック	はしご形 ZM 400～1000BS	m			ケーブルラック	トレー形 ZT 200～600（1段目及び2段積の2段目）	m		
ケーブルラック	はしご形 ZM 200～1000A、400～1000B 支持材別途 （共同溝内敷設）	m			ケーブルラック	はしご形 ZM 400～1000BS	m		
ケーブルラック	はしご形 <del>ZA</del> 200～1000A、400～1000B 支持材別途 （共同溝内敷設）	m			ケーブルラック	はしご形 ZM 200～1000A、400～1000B 支持材別途 （共同溝内敷設）	m		
ケーブルラック	はしご形 AL 200～1000A、400～1000B 支持材別途 （共同溝内敷設）	m			ケーブルラック	はしご形 <del>Z35</del> 200～1000A、400～1000B 支持材別途 （共同溝内敷設）	m		
					<del>ケーブルラック</del>	<del>はしご形 ZA 200～1000A、400～1000B （1段目及び2段積の2段目）</del>	<del>m</del>		
					<del>ケーブルラック</del>	<del>はしご形 ZA 200～1000A、400～1000B 支持材別途 （共同溝内敷設）</del>	<del>m</del>		
					ケーブルラック	はしご形 AL 200～1000A、400～1000B 支持材別途 （共同溝内敷設）	m		

新旧対照表

建築工事積算基準等資料の改定について		第4章 機械設備工事
		第1節 新営工事 第2項 空気調和設備工事
改 定 後	改 定 前	
2 項 空気調和設備工事	第2項 空気調和設備工事	
単価、価格等	1 単価、価格等	
(1) 機器設備	(1) 機器設備	
イ. 吸収冷凍機、吸収冷温水機及び吸収冷温水機ユニットの保温は、製造業者の見積価格等を参考に にする。	イ. 吸収冷凍機、吸収冷温水機及び吸収冷温水機ユニットの保温は、製造業者の見積価格等を参考 にする。	
ロ. 冷却塔のうち冷却能力が334kWを超えるものの据付は、協議会歩掛りによる。	ロ. 冷却塔のうち冷却能力が334kWを超えるものの据付は、協議会歩掛りによる。	
ハ. パッケージ形空気調和機、マルチパッケージ形空気調和機及びガスエンジンヒートポンプ式空 気調和機の冷媒管は、特記がなければ価格を算出するにあたって参考とした製造業者の口径を基 に、単価基準 第4編第1章第1節1配管工事により計上する。ただし、分岐ユニットは、製造 業者の見積価格等を参考にする。	ハ. パッケージ形空気調和機、マルチパッケージ形空気調和機及びガスエンジンヒートポンプ式空 気調和機の冷媒管は、特記がなければ価格を算出するにあたって参考とした製造業者の口径を基 に、単価基準 第4編第1章第1節1配管工事により計上する。ただし、分岐ユニットは、製造 業者の見積価格等を参考にする。	
ニ. 地下オイルタンク附属品は、協議会歩掛りによる。	ニ. 地下オイルタンク附属品は、協議会歩掛りによる。	
ホ. 空気熱源ヒートポンプユニット（モジュール形）の据付は、モジュール毎に加算して計上す る。	ホ. 空気熱源ヒートポンプユニット（モジュール形）の据付は、モジュール毎に加算して計上す る。	
ヘ. 軸流送風機及び斜流送風機の歩掛りは、消音ボックス付送風機に準ずる。	ヘ. 軸流送風機及び斜流送風機の歩掛りは、消音ボックス付送風機に準ずる。	
ト. 全熱交換ユニット（カセット形）の歩掛りは、協議会歩掛りによる。	ト. 全熱交換ユニット（カセット形）の歩掛りは、協議会歩掛りによる。	
(2) ダクト設備	(2) ダクト設備	
イ. ダクト設備の細目工種は、単価基準及び表M1－4による。	イ. ダクト設備の細目工種は、単価基準及び表M1－4による。	
ロ. ステンレス製ダクト及び硬質塩化ビニル製ダクトは、協議会歩掛りによる。	ロ. ステンレス製ダクト及び硬質塩化ビニル製ダクトは、協議会歩掛りによる。	
ハ. ウェザーカバーは、協議会歩掛りによる。	ハ. ウェザーカバーは、協議会歩掛りによる。	
ニ. チャンバー等の吊り用インサート取付費は、必要箇所数を別途計上する。 なお、シーリングディフューザー用既製品ボックスのインサートの必要箇所数は、1箇所とす る。	ニ. チャンバー等の吊り用インサート取付費は、必要箇所数を別途計上する。 なお、シーリングディフューザー用既製品ボックスのインサートの必要箇所数は、1箇所とす る。	
ホ. 400φ以上のスパイラルダクトは、参考歩掛り 表RM－2－4による。	ホ. 400φ以上のスパイラルダクトは、参考歩掛り 表RM－2－4による。	
ヘ. スライドオンフランジ工法に用いる材料のコーナー金具の板厚は、2.3mmを代用することがで きる。	ヘ. スライドオンフランジ工法に用いる材料のコーナー金具の板厚は、2.3mmを代用することがで きる。	
ト. 鋼板製ダクト（1.6mm）は、参考歩掛り 表RM－2－2による。 <u>チ. ダクトに用いるフランジ用ガスケットの厚みは、3mmのものは4mmを、5mmのものは6mmをそれぞ れ代用することができる。</u>	ト. 鋼板製ダクト（1.6mm）は、参考歩掛り 表RM－2－2による。	
(3) 弁装置類	(3) 弁装置類	
本歩掛りは、該当する歩掛りが無い場合は、類似の歩掛りを組み合わせて作成する。	本歩掛りは、該当する歩掛りが無い場合は、類似の歩掛りを組み合わせて作成する。	

新旧対照表

改 定 後							改 定 前						
附表 補正市場単価算出方法													
P124													
塗装工事													
**市場単価**							**市場単価**						
細 目	摘 要			単位	単価記号		細 目	摘 要			単位	単価記号	
	下地種類等	塗装種別	作業工程					下地種類等	塗装種別	作業工程			
錆止め塗り	現場 1 回 鉄鋼面（屋内外）	A種	A種	㎡	A		錆止め塗り	現場 1 回 鉄鋼面（屋内外）	A種	A種	㎡	A	
錆止め塗り	現場 1 回 鉄鋼面（屋内）	B種	A種	㎡	B		錆止め塗り	現場 1 回 鉄鋼面（屋内）	B種	A種	㎡	B	
錆止め塗り	現場 1 回 亜鉛めっき鋼・鋼製建具面（屋内外）	A種	A種	㎡	C		錆止め塗り	現場 1 回 亜鉛めっき鋼・鋼製建具面（屋内外）	A種	A種	㎡	C	
SOP塗り	鉄鋼・亜鉛めっき鋼・鋼製建具面（屋内外）	1種	B種	㎡	D		SOP塗り	鉄鋼・亜鉛めっき鋼・鋼製建具面（屋内外）	1種	B種	㎡	D	
SOP塗り	（素地ごしさえA種共）木部（屋内）	1種	B種	㎡	E		SOP塗り	（素地ごしさえA種共）木部（屋内）	1種	B種	㎡	E	
EP塗り	（素地ごしさえB種共） せっこうボード面		B種	㎡	F		EP塗り	（素地ごしさえB種共） せっこうボード面		B種	㎡	F	
EP塗り	（素地ごしさえB種共） けい酸カルシウム板・モルタル面		B種	㎡	R		EP塗り	（素地ごしさえB種共） けい酸カルシウム板・モルタル面		B種	㎡	R	
DP塗り	鉄鋼・亜鉛めっき鋼・鋼製建具面	1級		㎡	G		DP塗り	鉄鋼・亜鉛めっき鋼・鋼製建具面	1級		㎡	G	
CL塗り	（素地ごしさえB種共）木部		B種	㎡	I		CL塗り	（素地ごしさえB種共）木部		B種	㎡	I	
OS塗り	（素地ごしさえB種共）木部			㎡	J		OS塗り	（素地ごしさえB種共）木部			㎡	J	
SOP塗り	細幅物糸幅300mm以下 （素地ごしさえA種共）木部（屋内）	1種	B種	m	K		SOP塗り	細幅物糸幅300mm以下 （素地ごしさえA種共）木部（屋内）	1種	B種	m	K	
SOP塗り	細幅物糸幅300mm以下 （錆止め現場1回共）鉄鋼面（屋内）		B種	m	L		SOP塗り	細幅物糸幅300mm以下 （錆止め現場1回共）鉄鋼面（屋内）		B種	m	L	
CL塗り	細幅物糸幅300mm以下（素地ごしさえB種共）木部		B種	m	M		CL塗り	細幅物糸幅300mm以下（素地ごしさえB種共）木部		B種	m	M	
OS塗り	細幅物糸幅300mm以下（素地ごしさえB種共）木部			m	N		OS塗り	細幅物糸幅300mm以下（素地ごしさえB種共）木部			m	N	
素地ごしさえ	木部（屋内）		A種	㎡	O		素地ごしさえ	木部（屋内）		A種	㎡	O	
素地ごしさえ	せっこうボード面		B種	㎡	P		素地ごしさえ	せっこうボード面		B種	㎡	P	
素地ごしさえ	けい酸カルシウム板・モルタル面		B種	㎡	S		素地ごしさえ	けい酸カルシウム板・モルタル面		B種	㎡	S	
素地ごしさえ	押出成形セメント板面		B種	㎡	Q		素地ごしさえ	押出成形セメント板面		B種	㎡	Q	
**参考歩掛り（標仕仕様）**							**参考歩掛り（標仕仕様）**						
細 目	摘 要			単位	歩掛り記号	表番号	細 目	摘 要			単位	歩掛り記号	表番号
	下地種類等	塗装種別	作業工程					下地種類等	塗装種別	作業工程			
錆止め塗り	現場 1 回 鉄鋼面（仕様：第 8 節）	鉛鉛2種	A種	㎡	1	表RA-17-7	錆止め塗り	現場 1 回 鉄鋼面（仕様：第 8 節）	鉛鉛2種	A種	㎡	1	表RA-17-7
錆止め塗り	現場 1 回 鉄鋼面（仕様：第 8 節）	鉛鉛2種	B種	㎡	2	表RA-17-7	錆止め塗り	現場 1 回 鉄鋼面（仕様：第 8 節）	鉛鉛2種	B種	㎡	2	表RA-17-7
錆止め塗り	現場 1 回 鉄鋼面 素地ごしさえ別途(仕様：第4節)	鉛鉛1種	A種	㎡	119	表RA-17-7	錆止め塗り	現場 1 回 鉄鋼面 素地ごしさえ別途(仕様：第4節)	鉛鉛1種	A種	㎡	119	表RA-17-7
錆止め塗り	現場 1 回 鉄鋼面 素地ごしさえ別途(仕様：第4節)	鉛鉛1種	B種	㎡	3	表RA-17-7	錆止め塗り	現場 1 回 鉄鋼面 素地ごしさえ別途(仕様：第4節)	鉛鉛1種	B種	㎡	3	表RA-17-7
錆止め塗り	工場 1 回 鉄鋼面 素地ごしさえ別途(仕様：第4節)	鉛鉛1種	A,B種	㎡	4	表RA-17-7	錆止め塗り	工場 1 回 鉄鋼面 素地ごしさえ別途(仕様：第4節)	鉛鉛1種	A,B種	㎡	4	表RA-17-7
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 素地ごしさえ別途	1種	A種	㎡	120	表RA-17-8	SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 素地ごしさえ別途	1種	A種	㎡	120	表RA-17-8
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 素地ごしさえ別途	1種	B種	㎡	121	表RA-17-8	SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 素地ごしさえ別途	1種	B種	㎡	121	表RA-17-8
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面（屋内外）	1種	A種	㎡	9	表RA-17-8	SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面（屋内外）	1種	A種	㎡	9	表RA-17-8
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面（屋内外）	1種	B種	㎡	d 1	表RA-17-8	SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面（屋内外）	1種	B種	㎡	d 1	表RA-17-8
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	一般面 素地ごしさえ別途		A種	㎡	12	表RA-17-9	EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	一般面 素地ごしさえ別途		A種	㎡	12	表RA-17-9
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	見上げ面 素地ごしさえ別途		A種	㎡	13	表RA-17-9	EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	見上げ面 素地ごしさえ別途		A種	㎡	13	表RA-17-9
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	一般面 素地ごしさえ別途		B種	㎡	122	表RA-17-9	EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	一般面 素地ごしさえ別途		B種	㎡	122	表RA-17-9
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	見上げ面 素地ごしさえ別途		B種	㎡	123	表RA-17-9	EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	見上げ面 素地ごしさえ別途		B種	㎡	123	表RA-17-9
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	一般面 素地ごしさえ別途		A種	㎡	44	表RA-17-10	EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	一般面 素地ごしさえ別途		A種	㎡	44	表RA-17-10
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	見上げ面 素地ごしさえ別途		A種	㎡	45	表RA-17-10	EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	見上げ面 素地ごしさえ別途		A種	㎡	45	表RA-17-10

新旧対照表

改 定 後		改 定 前				
配管工事1を削除		【配管工事 1】耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい・埋込、露出配管				
		**補正市場単価**				
		細 目	摘 要	単位	市場単価	算定式
		電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい・埋込配管 16	m	A	a ÷ q
		電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい・埋込配管 22	m	B	b ÷ r
		電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい・埋込配管 28	m	C	c ÷ s
		電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 36	m	D	d ÷ t
		電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 42	m	E	e ÷ u
		電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 54	m	F	f ÷ v
		電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 70	m	G	g ÷ w
		電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 82	m	H	h ÷ x
		電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 16	m	I	i ÷ y
		電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 22	m	J	j ÷ z
		電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 28	m	K	k ÷ α
		電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 36	m	L	l ÷ β
		電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 42	m	M	m ÷ γ
		電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 54	m	N	n ÷ δ
		電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 70	m	O	o ÷ ε
		電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 82	m	P	p ÷ ζ
		**市場単価**				
		細 目	摘 要	単位	単価記号	
		電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい・埋込配管 16	m	A	
		電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい・埋込配管 22	m	B	
		電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい・埋込配管 28	m	C	
		電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 36	m	D	
		電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 42	m	E	
		電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 54	m	F	
		電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 70	m	G	
		電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 82	m	H	
		電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 16	m	I	
		電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 22	m	J	
		電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 28	m	K	
		電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 36	m	L	

新旧対照表

建築工事積算基準等資料の改定について			電気設備工事 附表				
改 定 後			改 定 前				
配管工事1を削除			**市場単価**				
			細 目	摘 要	単位	単価記号	
			電線管	硬質ビニル電線管 (VE) 露出配管 42	m	M	
			電線管	硬質ビニル電線管 (VE) 露出配管 54	m	N	
			電線管	硬質ビニル電線管 (VE) 露出配管 70	m	O	
			電線管	硬質ビニル電線管 (VE) 露出配管 82	m	P	
			**参考歩掛り**				
			細 目	摘 要	単位	歩掛り記号	表番号
			電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管 (HIVE) 隠ぺい・埋込配管 16	m	a	表RE-1-1
			電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管 (HIVE) 隠ぺい・埋込配管 22	m	b	表RE-1-1
			電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管 (HIVE) 隠ぺい・埋込配管 28	m	c	表RE-1-1
			電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管 (HIVE) 隠ぺい配管 36	m	d	表RE-1-1
			電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管 (HIVE) 隠ぺい配管 42	m	e	表RE-1-1
			電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管 (HIVE) 隠ぺい配管 54	m	f	表RE-1-1
			電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管 (HIVE) 隠ぺい配管 70	m	g	表RE-1-1
			電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管 (HIVE) 隠ぺい配管 82	m	h	表RE-1-1
			電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管 (HIVE) 露出配管 16	m	i	表RE-1-1
			電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管 (HIVE) 露出配管 22	m	j	表RE-1-1
			電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管 (HIVE) 露出配管 28	m	k	表RE-1-1
			電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管 (HIVE) 露出配管 36	m	l	表RE-1-1
			電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管 (HIVE) 露出配管 42	m	m	表RE-1-1
			電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管 (HIVE) 露出配管 54	m	n	表RE-1-1
			電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管 (HIVE) 露出配管 70	m	o	表RE-1-1
			電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管 (HIVE) 露出配管 82	m	p	表RE-1-1
			電線管	硬質ビニル電線管 (VE) 隠ぺい・埋込配管 16	m	q	表RE-1-1
			電線管	硬質ビニル電線管 (VE) 隠ぺい・埋込配管 22	m	r	表RE-1-1
			電線管	硬質ビニル電線管 (VE) 隠ぺい・埋込配管 28	m	s	表RE-1-1
			電線管	硬質ビニル電線管 (VE) 隠ぺい配管 36	m	t	表RE-1-1
			電線管	硬質ビニル電線管 (VE) 隠ぺい配管 42	m	u	表RE-1-1
			電線管	硬質ビニル電線管 (VE) 隠ぺい配管 54	m	v	表RE-1-1
			電線管	硬質ビニル電線管 (VE) 隠ぺい配管 70	m	w	表RE-1-1
			電線管	硬質ビニル電線管 (VE) 隠ぺい配管 82	m	x	表RE-1-1
			電線管	硬質ビニル電線管 (VE) 露出配管 16	m	y	表RE-1-1
			電線管	硬質ビニル電線管 (VE) 露出配管 22	m	z	表RE-1-1



新旧対照表

建築工事積算基準等資料の改定について			電気設備工事 附表	
改 定 後			改 定 前	
配管工事1を削除			**参考歩掛り**	
			細 目	摘 要
			電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 28
			電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 36
			電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 42
			電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 54
			電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 70
			電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 82
			単位	歩掛り記号
			表番号	
配管工事1 ～ 配管工事3 改定なし(番号繰り上がり)			配管工事2 ～ 配管工事4	

新旧対照表

建築工事積算基準等資料の改定について					電気設備工事 附表				
改 定 後					改 定 前				
【配管工事 <b>4</b> 】ケーブルラック <b>ZA</b> 支持材別途「別途用意する支持材に敷設・共同構内敷設等」					【配管工事 <b>5</b> 】ケーブルラック <b>Z35</b> 支持材別途「別途用意する支持材に敷設・共同構内敷設等」				
** 補正市場単価 **					** 補正市場単価 **				
細 目	摘 要	単位	市場単価	算定式	細 目	摘 要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 <b>ZA</b> 200A 支持材別途	m	A	a ÷ m	ケーブルラック	はしご形 <b>Z35</b> 200A 支持材別途	m	A	a ÷ m
ケーブルラック	はしご形 <b>ZA</b> 300A 支持材別途	m	B	b ÷ n	ケーブルラック	はしご形 <b>Z35</b> 300A 支持材別途	m	B	b ÷ n
ケーブルラック	はしご形 <b>ZA</b> 400A 支持材別途	m	C	c ÷ o	ケーブルラック	はしご形 <b>Z35</b> 400A 支持材別途	m	C	c ÷ o
ケーブルラック	はしご形 <b>ZA</b> 500A 支持材別途	m	D	d ÷ p	ケーブルラック	はしご形 <b>Z35</b> 500A 支持材別途	m	D	d ÷ p
ケーブルラック	はしご形 <b>ZA</b> 600A 支持材別途	m	E	e ÷ q	ケーブルラック	はしご形 <b>Z35</b> 600A 支持材別途	m	E	e ÷ q
ケーブルラック	はしご形 <b>ZA</b> 800A 支持材別途	m	F	f ÷ r	ケーブルラック	はしご形 <b>Z35</b> 800A 支持材別途	m	F	f ÷ r
ケーブルラック	はしご形 <b>ZA</b> 1000A 支持材別途	m	G	g ÷ s	ケーブルラック	はしご形 <b>Z35</b> 1000A 支持材別途	m	G	g ÷ s
ケーブルラック	はしご形 <b>ZA</b> 400B 支持材別途	m	H	h ÷ t	ケーブルラック	はしご形 <b>Z35</b> 400B 支持材別途	m	H	h ÷ t
ケーブルラック	はしご形 <b>ZA</b> 500B 支持材別途	m	I	i ÷ u	ケーブルラック	はしご形 <b>Z35</b> 500B 支持材別途	m	I	i ÷ u
ケーブルラック	はしご形 <b>ZA</b> 600B 支持材別途	m	J	j ÷ v	ケーブルラック	はしご形 <b>Z35</b> 600B 支持材別途	m	J	j ÷ v
ケーブルラック	はしご形 <b>ZA</b> 800B 支持材別途	m	K	k ÷ w	ケーブルラック	はしご形 <b>Z35</b> 800B 支持材別途	m	K	k ÷ w
ケーブルラック	はしご形 <b>ZA</b> 1000B 支持材別途	m	L	l ÷ x	ケーブルラック	はしご形 <b>Z35</b> 1000B 支持材別途	m	L	l ÷ x
** 市場単価 **					** 市場単価 **				
細 目	摘 要	単位	単価記号		細 目	摘 要	単位	単価記号	
ケーブルラック	はしご形 <b>ZA</b> 200A (2段積の2段目)	m	A		ケーブルラック	はしご形 <b>Z35</b> 200A (2段積の2段目)	m	A	
ケーブルラック	はしご形 <b>ZA</b> 300A (2段積の2段目)	m	B		ケーブルラック	はしご形 <b>Z35</b> 300A (2段積の2段目)	m	B	
ケーブルラック	はしご形 <b>ZA</b> 400A (2段積の2段目)	m	C		ケーブルラック	はしご形 <b>Z35</b> 400A (2段積の2段目)	m	C	
ケーブルラック	はしご形 <b>ZA</b> 500A (2段積の2段目)	m	D		ケーブルラック	はしご形 <b>Z35</b> 500A (2段積の2段目)	m	D	
ケーブルラック	はしご形 <b>ZA</b> 600A (2段積の2段目)	m	E		ケーブルラック	はしご形 <b>Z35</b> 600A (2段積の2段目)	m	E	
ケーブルラック	はしご形 <b>ZA</b> 800A (2段積の2段目)	m	F		ケーブルラック	はしご形 <b>Z35</b> 800A (2段積の2段目)	m	F	
ケーブルラック	はしご形 <b>ZA</b> 1000A (2段積の2段目)	m	G		ケーブルラック	はしご形 <b>Z35</b> 1000A (2段積の2段目)	m	G	
ケーブルラック	はしご形 <b>ZA</b> 400B (2段積の2段目)	m	H		ケーブルラック	はしご形 <b>Z35</b> 400B (2段積の2段目)	m	H	
ケーブルラック	はしご形 <b>ZA</b> 500B (2段積の2段目)	m	I		ケーブルラック	はしご形 <b>Z35</b> 500B (2段積の2段目)	m	I	
ケーブルラック	はしご形 <b>ZA</b> 600B (2段積の2段目)	m	J		ケーブルラック	はしご形 <b>Z35</b> 600B (2段積の2段目)	m	J	
ケーブルラック	はしご形 <b>ZA</b> 800B (2段積の2段目)	m	K		ケーブルラック	はしご形 <b>Z35</b> 800B (2段積の2段目)	m	K	
ケーブルラック	はしご形 <b>ZA</b> 1000B (2段積の2段目)	m	L		ケーブルラック	はしご形 <b>Z35</b> 1000B (2段積の2段目)	m	L	

## 新旧对照表

## 建築工事積算基準等資料の改定について

## 電気設備工事 附表

改 定 後

改定前

\* \* 参考歩掛り \* \*

細 目	摘 要	単位	歩掛り記号	表番号
ケブ トラック	はしご形 <span style="color: red;">ZA</span> 200A（2段積の2段目） 支持材別途	m	a	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <span style="color: red;">ZA</span> 300A（2段積の2段目） 支持材別途	m	b	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <span style="color: red;">ZA</span> 400A（2段積の2段目） 支持材別途	m	c	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <span style="color: red;">ZA</span> 500A（2段積の2段目） 支持材別途	m	d	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <span style="color: red;">ZA</span> 600A（2段積の2段目） 支持材別途	m	e	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <span style="color: red;">ZA</span> 800A（2段積の2段目） 支持材別途	m	f	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <span style="color: red;">ZA</span> 1000A（2段積の2段目） 支持材別途	m	g	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <span style="color: red;">ZA</span> 400B（2段積の2段目） 支持材別途	m	h	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <span style="color: red;">ZA</span> 500B（2段積の2段目） 支持材別途	m	i	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <span style="color: red;">ZA</span> 600B（2段積の2段目） 支持材別途	m	j	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <span style="color: red;">ZA</span> 800B（2段積の2段目） 支持材別途	m	k	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <span style="color: red;">ZA</span> 1000B（2段積の2段目） 支持材別途	m	l	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <span style="color: red;">ZA</span> 200A（2段積の2段目） 支持材加算	m	m	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <span style="color: red;">ZA</span> 300A（2段積の2段目） 支持材加算	m	n	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <span style="color: red;">ZA</span> 400A（2段積の2段目） 支持材加算	m	o	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <span style="color: red;">ZA</span> 500A（2段積の2段目） 支持材加算	m	p	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <span style="color: red;">ZA</span> 600A（2段積の2段目） 支持材加算	m	q	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <span style="color: red;">ZA</span> 800A（2段積の2段目） 支持材加算	m	r	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <span style="color: red;">ZA</span> 1000A（2段積の2段目） 支持材加算	m	s	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <span style="color: red;">ZA</span> 400B（2段積の2段目） 支持材加算	m	t	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <span style="color: red;">ZA</span> 500B（2段積の2段目） 支持材加算	m	u	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <span style="color: red;">ZA</span> 600B（2段積の2段目） 支持材加算	m	v	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <span style="color: red;">ZA</span> 800B（2段積の2段目） 支持材加算	m	w	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <span style="color: red;">ZA</span> 1000B（2段積の2段目） 支持材加算	m	x	表RE-1-4

\* \* 参考歩掛り \* \*

細 目	摘 要	単位	歩掛り記号	表番号
ケブ トラック	はしご形 <a href="#">Z35</a> 200A（2段積の2段目） 支持材別途	m	a	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <a href="#">Z35</a> 300A（2段積の2段目） 支持材別途	m	b	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <a href="#">Z35</a> 400A（2段積の2段目） 支持材別途	m	c	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <a href="#">Z35</a> 500A（2段積の2段目） 支持材別途	m	d	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <a href="#">Z35</a> 600A（2段積の2段目） 支持材別途	m	e	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <a href="#">Z35</a> 800A（2段積の2段目） 支持材別途	m	f	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <a href="#">Z35</a> 1000A（2段積の2段目） 支持材別途	m	g	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <a href="#">Z35</a> 400B（2段積の2段目） 支持材別途	m	h	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <a href="#">Z35</a> 500B（2段積の2段目） 支持材別途	m	i	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <a href="#">Z35</a> 600B（2段積の2段目） 支持材別途	m	j	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <a href="#">Z25</a> 800B（2段積の2段目） 支持材別途	m	k	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <a href="#">Z35</a> 1000B（2段積の2段目） 支持材別途	m	l	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <a href="#">Z35</a> 200A（2段積の2段目） 支持材加算	m	m	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <a href="#">Z35</a> 300A（2段積の2段目） 支持材加算	m	n	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <a href="#">Z35</a> 400A（2段積の2段目） 支持材加算	m	o	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <a href="#">Z35</a> 500A（2段積の2段目） 支持材加算	m	p	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <a href="#">Z35</a> 600A（2段積の2段目） 支持材加算	m	q	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <a href="#">Z35</a> 800A（2段積の2段目） 支持材加算	m	r	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <a href="#">Z35</a> 1000A（2段積の2段目） 支持材加算	m	s	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <a href="#">Z35</a> 400B（2段積の2段目） 支持材加算	m	t	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <a href="#">Z35</a> 500B（2段積の2段目） 支持材加算	m	u	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <a href="#">Z35</a> 600B（2段積の2段目） 支持材加算	m	v	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <a href="#">Z35</a> 800B（2段積の2段目） 支持材加算	m	w	表RE-1-4
ケブ トラック	はしご形 <a href="#">Z35</a> 1000B（2段積の2段目） 支持材加算	m	x	表RE-1-4

新旧対照表

建築工事積算基準等資料の改定について			電気設備工事 附表	
改 定 後			改 定 前	
配管工事6を削除			【配管工事 6】ケーブルラック ZA	
			**補正市場単価**	
			細 目	摘 要
			単位	市場単価
			算定式	
			ケーブルラック	はしご形 ZA 200A (1段目)
			m	A
				$a \div v$
			ケーブルラック	はしご形 ZA 300A (1段目)
			m	B
				$b \div z$
			ケーブルラック	はしご形 ZA 400A (1段目)
			m	C
				$c \div \alpha$
			ケーブルラック	はしご形 ZA 500A (1段目)
			m	D
				$d \div \beta$
			ケーブルラック	はしご形 ZA 600A (1段目)
			m	E
				$e \div \gamma$
			ケーブルラック	はしご形 ZA 800A (1段目)
			m	F
				$f \div \delta$
			ケーブルラック	はしご形 ZA 1000A (1段目)
			m	G
				$g \div \varepsilon$
			ケーブルラック	はしご形 ZA 400B (1段目)
			m	H
				$h \div \zeta$
			ケーブルラック	はしご形 ZA 500B (1段目)
			m	I
				$i \div \eta$
			ケーブルラック	はしご形 ZA 600B (1段目)
			m	J
				$j \div \theta$
			ケーブルラック	はしご形 ZA 800B (1段目)
			m	K
				$k \div \iota$
			ケーブルラック	はしご形 ZA 1000B (1段目)
			m	L
				$l \div \kappa$
			ケーブルラック	はしご形 ZA 200A (2段積の2段目)
			m	M
				$m \div \lambda$
			ケーブルラック	はしご形 ZA 300A (2段積の2段目)
			m	N
				$n \div \mu$
			ケーブルラック	はしご形 ZA 400A (2段積の2段目)
			m	O
				$o \div \nu$
			ケーブルラック	はしご形 ZA 500A (2段積の2段目)
			m	P
				$p \div \xi$
			ケーブルラック	はしご形 ZA 600A (2段積の2段目)
			m	Q
				$q \div \omicron$
			ケーブルラック	はしご形 ZA 800A (2段積の2段目)
			m	R
				$r \div \pi$
			ケーブルラック	はしご形 ZA 1000A (2段積の2段目)
			m	S
				$s \div \rho$
			ケーブルラック	はしご形 ZA 400B (2段積の2段目)
			m	T
				$t \div \sigma$
			ケーブルラック	はしご形 ZA 500B (2段積の2段目)
			m	U
				$u \div \tau$
			ケーブルラック	はしご形 ZA 600B (2段積の2段目)
			m	V
				$v \div \upsilon$
			ケーブルラック	はしご形 ZA 800B (2段積の2段目)
			m	W
				$w \div \phi$
			ケーブルラック	はしご形 ZA 1000B (2段積の2段目)
			m	X
				$x \div \chi$

新旧対照表

建築工事積算基準等資料の改定について			電気設備工事 附表	
改 定 後			改 定 前	
配管工事6を削除			**市場単価**	
			細 目	摘 要
			単位	単価記号
			ケーブルラック	はしご形 Z35 200A (1段目)
			ケーブルラック	はしご形 Z35 300A (1段目)
			ケーブルラック	はしご形 Z35 400A (1段目)
			ケーブルラック	はしご形 Z35 500A (1段目)
			ケーブルラック	はしご形 Z35 600A (1段目)
			ケーブルラック	はしご形 Z35 800A (1段目)
			ケーブルラック	はしご形 Z35 1000A (1段目)
			ケーブルラック	はしご形 Z35 400B (1段目)
			ケーブルラック	はしご形 Z35 500B (1段目)
			ケーブルラック	はしご形 Z35 600B (1段目)
			ケーブルラック	はしご形 Z35 800B (1段目)
			ケーブルラック	はしご形 Z35 1000B (1段目)
			ケーブルラック	はしご形 Z35 200A (2段積の2段目)
			ケーブルラック	はしご形 Z35 300A (2段積の2段目)
			ケーブルラック	はしご形 Z35 400A (2段積の2段目)
			ケーブルラック	はしご形 Z35 500A (2段積の2段目)
			ケーブルラック	はしご形 Z35 600A (2段積の2段目)
			ケーブルラック	はしご形 Z35 800A (2段積の2段目)
			ケーブルラック	はしご形 Z35 1000A (2段積の2段目)
			ケーブルラック	はしご形 Z35 400B (2段積の2段目)
			ケーブルラック	はしご形 Z35 500B (2段積の2段目)
			ケーブルラック	はしご形 Z35 600B (2段積の2段目)
			ケーブルラック	はしご形 Z35 800B (2段積の2段目)
			ケーブルラック	はしご形 Z35 1000B (2段積の2段目)

新旧対照表

建築工事積算基準等資料の改定について					電気設備工事 附表				
改 定 後					改 定 前				
配管工事6を削除					**参考歩掛り**				
					細 目	摘 要	単位	歩掛り記号	表番号
					ケーブルラック	はしご形 ZA 200A (1段目) 支持材加算	m	a	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 ZA 300A (1段目) 支持材加算	m	b	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 ZA 400A (1段目) 支持材加算	m	c	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 ZA 500A (1段目) 支持材加算	m	d	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 ZA 600A (1段目) 支持材加算	m	e	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 ZA 800A (1段目) 支持材加算	m	f	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 ZA 1000A (1段目) 支持材加算	m	g	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 ZA 400B (1段目) 支持材加算	m	h	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 ZA 500B (1段目) 支持材加算	m	i	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 ZA 600B (1段目) 支持材加算	m	j	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 ZA 800B (1段目) 支持材加算	m	k	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 ZA 1000B (1段目) 支持材加算	m	l	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 ZA 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	m	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 ZA 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	n	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 ZA 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	o	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 ZA 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	p	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 ZA 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	q	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 ZA 800A (2段積の2段目) 支持材加算	m	r	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 ZA 1000A (2段積の2段目) 支持材加算	m	s	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 ZA 400B (2段積の2段目) 支持材加算	m	t	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 ZA 500B (2段積の2段目) 支持材加算	m	u	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 ZA 600B (2段積の2段目) 支持材加算	m	v	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 ZA 800B (2段積の2段目) 支持材加算	m	w	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 ZA 1000B (2段積の2段目) 支持材加算	m	x	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 Z35 200A (1段目) 支持材加算	m	y	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 Z35 300A (1段目) 支持材加算	m	z	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 Z35 400A (1段目) 支持材加算	m	α	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 Z35 500A (1段目) 支持材加算	m	β	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 Z35 600A (1段目) 支持材加算	m	γ	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 Z35 800A (1段目) 支持材加算	m	δ	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 Z35 1000A (1段目) 支持材加算	m	ε	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 Z35 400B (1段目) 支持材加算	m	ζ	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 Z35 500B (1段目) 支持材加算	m	η	表RE-1-4
					ケーブルラック	はしご形 Z35 600B (1段目) 支持材加算	m	θ	表RE-1-4

新旧対照表

建築工事積算基準等資料の改定について			電気設備工事 附表	
改 定 後			改 定 前	
配管工事6を削除			***参考歩掛り***	
			細 目	摘 要
			単位	歩掛り記号
			表番号	
			ケーブルラック	はしご形 Z35 800B (1段目) 支持材加算
			m	㇀
			表RE-1-4	
			ケーブルラック	はしご形 Z35 1000B (1段目) 支持材加算
			m	㇁
			表RE-1-4	
			ケーブルラック	はしご形 Z35 200A (2段積の2段目) 支持材加算
			m	㇂
			表RE-1-4	
			ケーブルラック	はしご形 Z35 300A (2段積の2段目) 支持材加算
			m	㇃
			表RE-1-4	
			ケーブルラック	はしご形 Z35 400A (2段積の2段目) 支持材加算
			m	㇄
			表RE-1-4	
			ケーブルラック	はしご形 Z35 500A (2段積の2段目) 支持材加算
			m	㇅
			表RE-1-4	
			ケーブルラック	はしご形 Z35 600A (2段積の2段目) 支持材加算
			m	㇆
			表RE-1-4	
			ケーブルラック	はしご形 Z35 800A (2段積の2段目) 支持材加算
			m	㇇
			表RE-1-4	
			ケーブルラック	はしご形 Z35 1000A (2段積の2段目) 支持材加算
			m	㇈
			表RE-1-4	
			ケーブルラック	はしご形 Z35 400B (2段積の2段目) 支持材加算
			m	㇉
			表RE-1-4	
			ケーブルラック	はしご形 Z35 500B (2段積の2段目) 支持材加算
			m	㇊
			表RE-1-4	
			ケーブルラック	はしご形 Z35 600B (2段積の2段目) 支持材加算
			m	㇋
			表RE-1-4	
			ケーブルラック	はしご形 Z35 800B (2段積の2段目) 支持材加算
			m	㇌
			表RE-1-4	
			ケーブルラック	はしご形 Z35 1000B (2段積の2段目) 支持材加算
			m	㇍
			表RE-1-4	



新旧対照表

建築工事積算基準等資料の改定について			電気設備工事 附表	
改 定 後			改 定 前	
配管工事7を削除			【配管工事 7】 ケーブルラック ZA 支持材別途「別途用意する支持材に敷設・共同構内敷設等」	
			**補正市場単価**	
			細 目	摘 要
			単位	市場単価
			算定式	
			ケーブルラック	はしご形 ZA 200A 支持材別途
			m	A
				a ÷ m
			ケーブルラック	はしご形 ZA 300A 支持材別途
			m	B
				b ÷ n
			ケーブルラック	はしご形 ZA 400A 支持材別途
			m	C
				c ÷ o
			ケーブルラック	はしご形 ZA 500A 支持材別途
			m	D
				d ÷ p
			ケーブルラック	はしご形 ZA 600A 支持材別途
			m	E
				e ÷ q
			ケーブルラック	はしご形 ZA 800A 支持材別途
			m	F
				f ÷ r
			ケーブルラック	はしご形 ZA 1000A 支持材別途
			m	G
				g ÷ s
			ケーブルラック	はしご形 ZA 400B 支持材別途
			m	H
				h ÷ t
			ケーブルラック	はしご形 ZA 500B 支持材別途
			m	I
				i ÷ u
			ケーブルラック	はしご形 ZA 600B 支持材別途
			m	J
				j ÷ v
			ケーブルラック	はしご形 ZA 800B 支持材別途
			m	K
				k ÷ w
			ケーブルラック	はしご形 ZA 1000B 支持材別途
			m	L
				l ÷ x
			**市場単価**	
			細 目	摘 要
			単位	単価記号
			ケーブルラック	はしご形 Z35 200A (2段積の2段目)
			m	A
			ケーブルラック	はしご形 Z35 300A (2段積の2段目)
			m	B
			ケーブルラック	はしご形 Z35 400A (2段積の2段目)
			m	C
			ケーブルラック	はしご形 Z35 500A (2段積の2段目)
			m	D
			ケーブルラック	はしご形 Z35 600A (2段積の2段目)
			m	E
			ケーブルラック	はしご形 Z35 800A (2段積の2段目)
			m	F
			ケーブルラック	はしご形 Z35 1000A (2段積の2段目)
			m	G
			ケーブルラック	はしご形 Z35 400B (2段積の2段目)
			m	H
			ケーブルラック	はしご形 Z35 500B (2段積の2段目)
			m	I
			ケーブルラック	はしご形 Z35 600B (2段積の2段目)
			m	J
			ケーブルラック	はしご形 Z35 800B (2段積の2段目)
			m	K
			ケーブルラック	はしご形 Z35 1000B (2段積の2段目)
			m	L

新旧対照表

建築工事積算基準等資料の改定について			電気設備工事 附表					
改 定 後		改 定 前						
配管工事7を削除		**参考歩掛り**						
		細 目	摘 要	単 位	歩掛り記号	表番号		
		ケーブルラック	はしご形 ZA 200A（2段積の2段目） 支持材別途	m	a	表RE-1-4		
		ケーブルラック	はしご形 ZA 300A（2段積の2段目） 支持材別途	m	b	表RE-1-4		
		ケーブルラック	はしご形 ZA 400A（2段積の2段目） 支持材別途	m	c	表RE-1-4		
		ケーブルラック	はしご形 ZA 500A（2段積の2段目） 支持材別途	m	d	表RE-1-4		
		ケーブルラック	はしご形 ZA 600A（2段積の2段目） 支持材別途	m	e	表RE-1-4		
		ケーブルラック	はしご形 ZA 800A（2段積の2段目） 支持材別途	m	f	表RE-1-4		
		ケーブルラック	はしご形 ZA 1000A（2段積の2段目） 支持材別途	m	g	表RE-1-4		
		ケーブルラック	はしご形 ZA 400B（2段積の2段目） 支持材別途	m	h	表RE-1-4		
		ケーブルラック	はしご形 ZA 500B（2段積の2段目） 支持材別途	m	i	表RE-1-4		
		ケーブルラック	はしご形 ZA 600B（2段積の2段目） 支持材別途	m	j	表RE-1-4		
		ケーブルラック	はしご形 ZA 800B（2段積の2段目） 支持材別途	m	k	表RE-1-4		
		ケーブルラック	はしご形 ZA 1000B（2段積の2段目） 支持材別途	m	l	表RE-1-4		
		ケーブルラック	はしご形 Z35 200A（2段積の2段目） 支持材加算	m	m	表RE-1-4		
		ケーブルラック	はしご形 Z35 300A（2段積の2段目） 支持材加算	m	n	表RE-1-4		
		ケーブルラック	はしご形 Z35 400A（2段積の2段目） 支持材加算	m	o	表RE-1-4		
		ケーブルラック	はしご形 Z35 500A（2段積の2段目） 支持材加算	m	p	表RE-1-4		
		ケーブルラック	はしご形 Z35 600A（2段積の2段目） 支持材加算	m	q	表RE-1-4		
		ケーブルラック	はしご形 Z35 800A（2段積の2段目） 支持材加算	m	r	表RE-1-4		
		ケーブルラック	はしご形 Z35 1000A（2段積の2段目） 支持材加算	m	s	表RE-1-4		
		ケーブルラック	はしご形 Z35 400B（2段積の2段目） 支持材加算	m	t	表RE-1-4		
		ケーブルラック	はしご形 Z35 500B（2段積の2段目） 支持材加算	m	u	表RE-1-4		
		ケーブルラック	はしご形 Z35 600B（2段積の2段目） 支持材加算	m	v	表RE-1-4		
		ケーブルラック	はしご形 Z35 800B（2段積の2段目） 支持材加算	m	w	表RE-1-4		
		ケーブルラック	はしご形 Z35 1000B（2段積の2段目） 支持材加算	m	x	表RE-1-4		
		配管工事 5		改定なし（番号繰り上がり）			配管工事 8	